

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
石堂常世	日本における道徳教育強化策を吟味する －フランスの市民性育成教育を対極として－	第50回日本比較教育学会、 名古屋大学、2014年7月13 日発表『日本比較教育学会 第50回大会発表要旨集録』 p.32	わが国の現政権の教育政策の柱のひとつになって いる道徳教育強化策について、その直進的進行と 内容の感情的傾向、とくに模範的行為・心がけ・ 偉人伝・とりわけ郷土の偉人・小説中の逸話と いった読み物資料の増幅を取り上げ、その幼児性 と教科格上げの危険性を、「思考する市民育成」 を原理とするフランスとの比較で論究した。
	“morale laïque”のねらいと論点 －2015年施行を前に－	日仏教育学会2014年度研究 大会、大阪大学、11月29日 『日仏教育学会2014年度研 究大会要旨集録』pp. 8- 9。 当日配布のパワーポイント コマ数32。	フランス国民教育省が2015年9月の新学期からす べての小学校・中学校・高等学校に導入を決めた “morale laïque”（直訳：世俗主義の道徳教育）の 導入の背景と課題を、わが国の道徳の「特別教 科」化の政策と突き合わせて比較検討し、今日の フランスの子どもたちの実態、病んでいるといわ れる学校の状況、イスラム教の影響を排除しての 刷新された共和主義の道徳教育の強化について解 読した。
	大阪での2014年度研究大会に謝す。	「日仏教育学会事務局レ ター」 掲載原稿、2015年1月10日 発行。pp. 2- 3。	学会会長として、フランスからの招聘学者、ステ ファン・ボー教授の基調講演「フランスにおける バカロレア取得率80%の意味－30年の政策展 開－」とその論理を囲む当日の日仏シンポジウム の意義を記述し、主催校への謝辞を付した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	今日の教養教育の困難性と未来的教養：郡山女子大学を起点として	第64回東北・北海道地区大学等 高等・共通教育研究会『研究集録』平成26年8月28-29日、帯広畜産大学、平成27年2月1日刊、pp.22-25。	教養教育の未来志向型の在り方について、建学の精神との兼ね合いの難しさを論究し、専門性を強く打ち出すようになった今日の大学教育において、教養教育をいかに樹立するかの困難性を述べた。先ず高等教育界全体の動向をまとめた後、事例として、本学の教養教育の過去・現在・未来について共通基礎科目に至る歴史的経緯を押さえつつ、人間としてのもっとも大切な感性を育てるという創設者の教養観の理念やそのために設置されている芸術鑑賞講座の扱いの特殊性から、これからの時代に生きる者の教養とは何なのかという課題に、カリキュラム構成上の難点から結びつけた。
	<拙著の書評>石堂常世著『フランス公教育と市民育成の原理－コンドルセ公教育論を起点として－』風間書房、2013年4月刊。	教育史学会紀要『日本の教育史学』第57号、2014年10月1日刊、pp.163-165。	著者の研究生活の大半を占めたフランスの公教育論とその政策理論・哲学の研究成果について、教育史学会が書評として取り上げ、詳細に内容を紹介した。評者は九州大学教授、藤勝宣。
武 井 玲 子	生活上のリスクマネジメントに関する検討 －放射性物質汚染に関するリスクコミュニケーション－（共同研究）	（一社）日本家政学会第66回大会（2014年5月24日、於：北九州国際会議場）研究発表要旨集、p.65	本学・東京都内の学生を対象とし除染意識調査を実施、除染のリスクコミュニケーションの課題抽出を行った。
	ユニバーサルデザインのための色の象徴性の検討（3）－色彩嗜好との関係－（共同研究）	（一社）日本家政学会第66回大会（2014年5月24日、於：北九州国際会議場）研究発表要旨集、p.107	言語を象徴する色彩と色彩嗜好との関係を明らかに目的で、一般男女を対象として調査を実施、関係性を認めた。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
小 阪 康 治	“O połowach wielorybów świetle etyki – Sutra Nirwany a poglądy św. Augustyna” (単著)	W kręgu wartości kultury Japonii W140.rocznicę urodzin Nisidy Kitarō (1870-1945) 所収 Wydawnictwa Uniwersytetu Warszawskiego p.267～282	捕鯨についての洋の東西の見解の違いを、宗教性の立場から分析した。
山 形 敏 明 苦米地 司 千 葉 隆 弘	福島県会津地方における雪害対策に関する基礎的研究 – 雪害発生状況の分析と豪雪被害関数の構築 – (査読付)	日本雪工学会誌 Vol.30 No.4 (Ser.No117). pp269-278.2014.10	福島県の11年間の雪害状況を整理分析し、被害時の気象背景を分析した。特に福島県会津地方の豪雪被害を累積降雪量、年最大積雪深、年最大降雪量などを指標とした解析を行った結果から、豪雪被害関数を構築した。また、この豪雪被害関数を用いた雪害対策について提案した。
山 形 敏 明 他	郡山市史 続編 4 通史	郡山市	郡山市史続編 4 通史 第二編社会 第四章大震災からの復興 第三節ボランティア活動と避難所 pp502-512 東日本大震災における郡山市の被害状況ならびに避難所の状況について記録・解説している。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
山 本 裕 詞	(論文) 戦後「家庭科教育」成立の精神的特徴－戦前との連続性に着目して－	共著(遠藤恵、山本裕詞) 郡山女子大学紀要 第51集(平成27年3月)	戦後の女子教育における、女性の主体性を養成する組織的な教育意図を確認することを通して、戦後成立する「家庭科教育」と戦前女子教育との精神的連続性を明らかにした。 具体的には、戦後直後の「家庭科教育」編成期において確認される日本側教育委員の女子教育観が、戦前のものから連続していることを確認した上で、そのルーツを江戸期にまで遡って分析した。 その結果、女性に対する社会的要請の変化にしたがって、期待される主体性が拡大・縮小する柔軟な構造が連続していることが確認された。 執筆者は遠藤恵と山本裕詞の二名であり、山本は第二執筆者として、論文構想全体に関わり、執筆分担としては「1. 戦後初期における文部省の教育方針」、「2. 教科『家庭科』成立過程」を担当した。
難 波 めぐみ	中世海上交易品に見る色材 －アジア海域を取り巻く国々－ (ポスターセッション) 公家文化に見る服装 －「出衣」の着装を考える－ (論文)	(一社)日本家政学会第66 回大会(於:北九州国際会 議場2014.5.24)ポスター セッション要旨集P59 郡山女子大学研究紀要第51 集(2014.3)	中世アジア海域の渡航が許された琉球は、赤の色材蘇木を、交易品として買付していたことを明らかとした。 公家文化を描いた絵巻には、「出衣」と呼ばれる着装が描かれている。その「出衣」姿の一考察を行った。
石 原 正 道	Time variation and strength distribution of air dose rate in Fukushima	Health Physics	福島県での空間線量のデータを用い、環境中における崩壊時間と空間線量の割合を記述する関数を明らかにした。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	Fractal structure of the distributions of air dose rates in Koriyama city in Fukushima	Health Physics	郡山市における、空間線量の強度分布のフラクタル構造を調べ、q 分布でよく記述できることを示した。
	Application of optimization method to the x^4 model in the Tsallis nonextensive statistics	International Journal of Modern Physics B	Tsallis の非加法統計力学を x^4 模型に適用し、密度行列をガウス型に制限して物理量の計算を行った。
	Suppression of growth by multiplicative white noise in a parametric resonant system	Brazilian Journal of Physics	Mathieu方程式に類似した、乗法的ノイズを有する方程式を調べ、ノイズ強度と増幅の関係を明らかにした。
山 口 猛 石 原 正道 古 山 幹 雄	タイピング能力に対するノートPC とタブレットPC 利用間の差異	教育システム情報学会 全国大会 (口頭発表・発表者山口)	タブレットPCとノートPC間で、タイピングの学習に大きな差異は見られないことが確認した。
石 原 正道	線形シグマ模型におけるカイラル相転移へのTsallis 分布の影響	日本物理学会 第70回年次大会 (口頭発表)	Tsallis 分布を仮定し、線形シグマ模型を用いてカイラル相転移への分布の影響を調べた。
垣 花 真一郎	誠信 心理学辞典 新版 (担当箇所: 「学習指導」(pp.228-230))	誠信書房	1960年代から現代に至る学習指導法の変遷を、背景にある心理学理論の変遷と関連づけて解説した。
大 家 まゆみ 垣 花 真一郎 藤 江 康 彦 奥 川 裕 飯 高 晶 子 上 淵 寿	Collaborative and harmonious peer relatedness to enhance music motivation.	Journal of Creative Music Activity for Children, 3 巻	小学校5年生～中学校2年生1,791人を対象に音楽と他の科目の動機付けの関係について調査した。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
大垣藤奥飯上 家花江川高淵 まゆみ 真一郎 康彦 裕子 晶子 寿	日本の小・中学校間の連携・接続に関する実証的研究－主要5教科・技能4教科・特別活動・総合的な学習の時間・休み時間に対する動機づけと学業成績の自己評価の関係	人文科学研究（誠信女子大学人文科学研究所紀要）、33巻	小学5年生～中学2年生までの1,815名を対象に教科の好みの群化のパターンとその変容過程を検討した。
佐藤典子	著書、報告書等 「ESDとしての家庭科教育の可能性と役割」に関する研究報告書（共同研究） 「教員養成における資質向上のための特別支援学校との地域連携」（共著） 口頭発表 国立科学博物館の貸出し教材を活用した授業の試み～文化学科の学生を対象として～（共同研究） 調理実習と科学実験を連携させた家庭科の授業計画（共同研究） ポスター発表 「ESDとしての家庭科教育の可能性と役割」（共同研究）	日本家庭科教育学会 課題研究ワーキンググループ 平成26年5月発行 全国私立大学教職課程研究連絡協議会教育制度委員会 平成26年5月発行 日本科学教育学会 第38回年会（平成26年9月13日 於：埼玉大学） 日本食生活学会 第49回大会（平成26年11月29日 於：金沢市ITビジネスプラザ武蔵） 日本家庭科教育学会 第57回大会（平成26年6月28・29日 於：岡山大学）	平成23年4月～平成25年3月までの2年にわたり、家庭科の今日的課題として挙げられる「ESD（持続可能な開発のための教育）と家庭科の関連」について調査研究を行い報告書にまとめた。 本学の取り組みが、私立大学の特色ある教職課程事例集の第4章「地域的連携・インターンシップ、ボランティア」に掲載された。 国立科学博物館所蔵の標本「土コレクション」を活用した授業を、「自然と文化」の履修者を対象に実施した。事後アンケート結果から、学生は標本の色の多様性に驚き、知的好奇心が高まったと推察された。 高等学校「家庭基礎」食物学領域を対象に、調理実習と科学実験を連携一体化させた授業計画を作成し、どのような教材や教育方法を用いれば生徒の理解を促すことにつながるか検討した。 ESDとしての家庭科の構成概念や定義についての先行研究調査結果、家庭科教科書におけるESDの学習内容、家庭科教員を対象とした全国アンケート調査の結果等について、最終報告プレゼンテーションを行った。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
渡 邊 英 勝	「生活困窮者自立支援モデル事業から見た地域福祉推進の方向性」	郡山女子大学研究紀要 第51集	生活困窮者自立支援法が成立し、政府はモデル事業を実施し、生活困窮者支援の制度化を目指している。新しい生活支援体系には、つながりの再構築が謳われていることから、一人ひとりが社会とつながりを強め、周囲から承認されているという実感が得られることが自立に向けての条件でもある。本研究は、生活困窮者自立支援を通して、これからの地域福祉のあり方を明らかにした。
	「社会福祉士によるソーシャルワーク実践としてのアウトリーチに関する考察」	一般社団法人 静岡県社会福祉士会研究誌「社会福祉士しずおか第14号」	社会福祉の援助が必要なケースが多岐に渡り、中でもニーズ発見、課題発見、即対応、解決へつなぐ等のためのアウトリーチが強調されるようになった。 本研究では改めて社会福祉士のアウトリーチ実践について再考し、私たち社会福祉士にこれから求められるアウトリーチとは何か、何を目標にやっていくべきかを明らかにした。
泉 秀 生	(論文) 幼児期の健康的な生活リズムづくりのための教材開発研究 (共著)	日本保育園保健協議会 『保育と保健』21巻1号, pp.41-45	保育園幼児の親に、生活リズム教材を配布した結果、子どもの就寝時刻が早まり、朝食を食べる子も増えた。
	2013年度 郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業調査報告 (共著)	「郡山市子どもの心と体の育ち身守り事業」調査研究委員会 (平成26年6月)	本報告書では、平成25年度実施の郡山市の子どもの生活習慣等に関するアンケート調査結果をまとめた。 掲載頁：pp.8-9、37-61
	(学会発表) 幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開 (XXII) - 保育園幼児の生活習慣の実態 (2013年調査報告) とその課題 -	日本子ども家庭福祉学会第15回全国大会, 2014年6月	保育園幼児の生活課題として、21時半以降の遅い就寝と7時前の早い起床時刻、短時間睡眠が確認された。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開 (XXⅢ) - 保育園幼児の朝の生活実態 (2013年調査報告) とその課題 -	日本食育学術会議第9回大会, 2014年7月	保育園幼児の生活特徴として、自立起床できない子ども (4割程度)、朝食欠食児 (1割程度) が確認された。
	幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開 (XXⅢ) - 幼稚園幼児の生活実態 (2013年調査報告) とその課題 -	日本幼児体育学会第10回大会, 2014年8月	幼稚園幼児の特徴として、外あそび時間が1時間未満の幼児が6割前後確認され、運動の乱れを確認した。
	幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開 (XXⅦ) - 保育園幼児の生活リズムとその課題 (2013年調査) -	第20回 日本保育園保健学会, 2014年10月	保育園幼児の生活時間相互の相関係数を算出したところ、19時以降の遅い夕食が、遅寝の誘因となった。
	幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開 (XXⅤ) - 幼稚園幼児と保育園幼児の生活実態 (2013年調査) の比較とその課題 -	日本乳幼児教育学会第24回大会, 2014年11月	幼稚園幼児では夕食の開始が、保育園幼児では就寝時刻が遅く設定されており、遅寝の誘因となっていた。
	ラウンドテーブル話題提供者 もちよろう、子どもの生活リズム向上を目指した各地の企画と実践 (Ⅱ)	日本乳幼児教育学会第24回大会, 2014年11月	全国の幼稚園幼児と保育園幼児の調査結果を示し、各県のリーフレットや冊子などの取り組みを報告した。
	幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開 (XXⅥ) - 幼稚園幼児の生活実態とあそび場所との関連性 (2013年調査) -	第44回 日本レジャー・レクリエーション学会, 2014年12月	家の中で遊ぶ子どもほど、外あそび時間が1日30分未満と短く、テレビ・ビデオのついた暮らしを送っていた。
廣 野 正 子	特別養護老人ホーム介護職員のSense of Coherence (SOC) と仕事満足度の関係 (共著)	地域福祉研究No.3 (通算No.43)	特別養護老人ホームの介護職員180名を対象に、SOCと仕事満足度の関係を調査した。SOCを高めることで仕事満足度の向上になることを示した。
長 田 城 治	山形県高島町大笹生地区における高島石の生産体制と利用実態	日本建築学会大会学術講演梗概集 (建築歴史・意匠) 2014年9月	山形県高島町大笹生で採掘された大笹生石の生産とその生産体制の特徴を史料や聞き取り調査から明らかにした。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	武蔵国橋樹郡生麦村『関口日記』にみる民家の植栽と職人の就業実態	日本建築学会大会学術講演梗概集（建築歴史・意匠） 2014年9月	江戸～明治期に書かれた『関口日記』から植栽に関する記録を抜き出し、当時の植栽計画とその特徴を考察した。
	高島まちあるきプロジェクト	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2014年5月	高島まちあるきプロジェクトで中核を担った高島石の生産と、住宅利用および石鳥居に関する研究を報告した。
	行政機関との連携による総合的な文化遺産保護活動について	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2014年5月	行政機関と連携して実施した文化遺産を保存、保護するための活動について報告し、その効果や今後の課題をまとめた。
	教育普及活動の実践－平成25年度における教育普及活動の実践	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2014年5月	地域文化遺産を再発見、再評価して保存や保護に繋げる研究プロジェクトに関する教育普及活動を報告した。
	本山慈恩寺秘仏展および御開帳に関する展示設計	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター年報、 2014年8月	本山慈恩寺秘仏展の展示計画において仏像展示環境に配慮した照明、動線計画を行い、国重文での展示に対応した暗幕の設置方法を提案した。
	西川町旧大日寺文化財調査	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2015年3月	出羽三山に関する寺院や宿坊を対象に文化財の悉皆調査を実施し、仏像や書画、建物に関する地域的・文化的価値を明らかにした。
	地域の自然利用技術と知恵が育む個性的な文化遺産－高島石の採掘と利用の歴史から	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2015年3月	山形県高島町で産出される高島石について、地域的・文化的・歴史的側面から文化遺産としての価値づけを行った。
	大江町小清地区における民家形式の特徴と住生活の実態	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2015年3月	山形県大江町小清地区の江戸期建造の茅葺民家を実測調査し、平面の復原による民家形式の特徴と住生活の実態を明らかにした。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	西川町の民家における地域差の形成要因と住生活文化	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2015年3月	山形県西川町の民家を対象に、民家の地域差の形成要因とその住生活文化の実態を明らかにした。
	教育普及活動の実践とその成果	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2015年3月	地域文化遺産の保存や保護に関する研究プロジェクトにおいて実施した教育普及活動の実践成果を評価し、その課題について報告した。
	西川町旧本道寺文化財悉皆調査	文化財保存修復研究センター研究成果報告書、2015年3月	出羽三山信仰の宿坊として賑わった山形県西川町岩根沢地区の文化遺産総合調査を実施し、宿坊建築と集落の特徴を明らかにした。
遠藤 恵	生活上のリスクマネジメントに関する検討－放射性物質汚染に関するリスクコミュニケーション－	共同研究 (遠藤恵、鍋山友子、武井玲子) (一社)日本家政学会第66回大会	本学・東京都内の学生を対象とし除染意識調査を実施、除染のリスクコミュニケーションの課題抽出を行った。
	戦後「家庭科教育」成立の精神的特徴－戦前との連続性に着目して－	共著(遠藤恵、山本裕詞) 郡山女子大学紀要 第51集(平成27年3月)	戦前女子教育における女性の主体性を養成する組織的な教育意図を確認し、戦後に成立した「家庭科」との精神的連続性を明らかにした。
藤本 健四郎	野菜350g以上摂取のための織切りキャベツ使用の有効性(共著)	日本調理科学会誌,47 (2),90-96(2014)	毎食、織切りキャベツを加えることは、野菜摂取量を350gに近づけるのに有効だった。ただし、緑黄色野菜の摂取量は減少した。
	給食施設で使用している食器における食器消毒保管庫及び漂白剤の使用状況(共著)	日本給食経営管理学会誌, 8(2),43-51(2014)	給食施設で使用されている食器の劣化につながる使用状況を調査した。食器が変色等で買い替えなければならないことに不満を感じている施設が多かった。食器消毒保管庫の設定条件は、食器の材質を考慮せずに決められていた。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	女子学生と母親の嗜好食品摂取についての検討 (共著)	日本調理科学会誌,47 (5),260-266 (2014)	年齢が上がるに従い、嗜好食品の摂取割合が上昇した。嗜好食品が増えると、食事バランスが悪くなった。
	植物ステロールエステルを使用したデニッシュパンの物性と官能評価 (共著)	日本食生活学会第48回大会 発表 (平成26年 5 月24日) 東京聖栄大学 (東京都葛飾区新小岩)	バターの半量を植物ステロールエステルで置換したデニッシュ用生地を用いてホームベーカリーで製造したパンの品質は、ほとんどバターに遜色なかった。
	減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価 (共著)	日本調理科学会平成26年度 大会発表 (平成26年 8 月29 日) 広島県立大学 (広島 市)	濃口醤油に換えて食塩含量が約半分の減塩醤油を1ヶ月使用すると、低塩調理に対する慣れが見られた。
	中高年女性の間食摂取の検討 (共著)	日本調理科学会平成26年度 大会発表 (平成26年 8 月30 日) 広島県立大学 (広島 市)	間食に甘い物を摂ると、調味に影響することが分かった。
	調理実習と科学実験を連携させた家庭科の授業 計画 (共著)	日本食生活学会第49回大会 (平成26年11月29日) ビジ ネスプラザ武蔵 (金沢市)	高等学校「家庭基礎」の食物学領域を対象に、調理実習と科学実験を連携一体化した授業計画を作成した。とくに連携を図るために教材の選択に配慮した。
	減塩しょうゆを用いた減塩調理への慣れにつ いて (共著)	第26回福島県栄養改善学会 (平成27年 2 月14日) ビッ グパレットふくしま (郡山市)	女子大生は、1ヶ月間減塩生活すると有意に減塩しょうゆを好むようになった。また、減塩生活により食塩摂取量は有意に減少した。
広 井 勝	(著書) 菌類の生物学	共立出版 (2014.9)	14章 きこの栄養価と免疫効果の部分のきのこの栄養価を担当 (柿嶋眞、徳増征二責任編集)

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	(論文) エノキタケの遊離アミノ酸含量について	郡山女子大学紀要第51集 (2015.3)	エノキタケの生長に伴う遊離アミノ酸含量と保存による変化を特にGABAとオルニチンを中心に検討した。
	福島県内で見られるニセクロハツ類似きのこのこについて	関西菌類談話会会報No.31 (2015.1)	福島県内にはニセクロハツ類似きのこのこが少なくとも3種存在することを明らかにした。
	野生きのこの放射能汚染の現状	グリーンパワー10月号 (2014.10)	福島原発の事故による、野生きのこの放射能汚染の現状について解説した。特に分析試料の分類学的問題、種による特徴などを示した。
	The phylogeny of <i>Russula section Compactae</i> inferred from the nucleotide sequences of the rDNA large subunit and ITS regions	三重大学大学院生物資源学 研究科紀要第40号	リボソームDNAの大サブユニット領域およびITS領域の塩基配列にもとづくベニタケ科クロハツ節の分子系統について検討した。(下野、広井、高松)
	(口頭発表) 福島県産山菜の放射性セシウム濃度について	日本家政学会東北・北海道 支部大会 (2014.9)	福島県産山菜の放射性セシウム濃度について平成24年度と25年を比較した。多くの山菜で24年に比べ25年で濃度の上昇がみられた。(広井、大塚他)
	福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向 (2013)	日本菌学会第58回大会 (2014.6)	2013年度の県内の野生きのこの放射性セシウム濃度について検討した。きのこの種類により濃度に特徴が認められた。また、同一地域で採取したものでも採取場所や成長の違いなどで濃度に異なりが認められた。(広井、桧垣他)
	富士山の野生きのこに含まれる放射性セシウム濃度 (2013)	日本菌学会第58回大会 (2014.6)	富士山でとれたチャナメツムタケ、ホテイシメジ(腐生菌)のセシウム濃度は2012年に比べ2013年で低下したが、ハナイグチなどの菌根菌では逆に濃度の上昇が見られた。(後藤、桧垣、広井他)
	発光性きのこの培養菌糸体の継続的発光強度	日本菌学会第58回大会 (2014.6)	10種の発光性きのこの菌糸体の発光強度を継続的に比較した。菌株により発光性に違いが見られた。(寺嶋、根田、高橋、広井)

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
紺野信弘	著書(分担執筆) 神経症候群V(第2版) - その他の神経疾患を含めて -	別冊 日本臨牀 新領域別 症候群シリーズ No.30 XII 医薬品副作用、中毒 性疾患 農薬 日本臨牀社	わが国で使用されている農薬を中心にその毒性と作用機序、中毒症状などについて概説した。
Takayama R, Fujiwara T., <i>et al</i> 共著者6名中2 番、査読あり	Long-term course of Dravet syndrome at a single epilepsy center.in Japan	Epilepsia. 2014 ; 55 : 528-38.	難治てんかんDravet症候群64例について10年以上の長期経過を分析した。臨床亜型により転帰が異なるなど、幾つかの新知見を見出した。本症の長期経過に関する、最大かつ最長の研究となる。
Takayama R, Fujiwara T., <i>et al</i> 共著者6名中2 番	In response to terminology and prognosis of Dravet syndrome.	Epilepsia. 2014 ; 55 : 943	上記論文に対して、Dravetから結論に賛同する旨のコメントが寄せられた。分類上の位置づけなどについてEpilepsia 誌上で議論があった。
Nikaido K, Fujiwara T., <i>et al</i> 共著者6名中5 番、査読あり	Statistical image analysis of medial temporal lobe epilepsy using 123I-Iomazenil SPECT.	Epilepsy & Seizure 2014 ; 7 : 45-54.	てんかん外科治療の成否は手術前評価の質に左右される。てんかん原性帯域の血行動態を定量化する新しい評価法を試みた。
橋爪 敏	『郡山市史 続編4』第2編社会 第1章市民生活 第1節商業施設の変化 第2節日常生活の変化	福島県郡山市	郡山市の2002(平成14)年から2011(平成23)年までの10年の歴史のうち<商業施設の変化>と<日常生活の変化>について考現学的視点から論じた。 pp.271~295
鉦野信子	音楽が味覚と心理に及ぼす影響(単著)	郡山女子大学紀要, Vol.51, PP.1-15(2015)	音楽の種類が食品の味覚に及ぼす影響、および個人が好む音楽が心理と味覚に及ぼす影響について若干の検討を加えた。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
菊 池 節 子	(論文) 2013年度 郡山市子どもの心と体の育ち見守り 事業調査報告 (共著)	「郡山市子どもの心と体の 育ち身守り事業」調査研究 委員会 (平成26年 6月)	震災後郡山の子どもたちは運動能力の低下や体重 増加・増加不良の児が増えている。本報告書は平 成25年度実施の郡山市の子どもたちの生活習慣等 に関するアンケート調査結果をまとめたものであ る。掲載頁：pp.8-9、37-61
	管理栄養士養成施設のT大学とK大学 2年生女 子の食生活現状 (共著)	東北生活文化大学紀要 (平成27年 3月)	管理栄養士養成施設 2大学の女子学生の食事調査 結果に基づき、女子学生の食生活の現状について 報告した。
	(学会発表) 植物ステロールエステルを使用したデニッシュ パンの物性と官能評価 (共同研究)	日本食生活学会第48回大会 (平成26年 5月24日、東京 聖栄大、東京)	植物ステロールエステルは低カロリー油脂として 製パンに活用できるかについて、バターを植物ス テロールエステルに置換したデニッシュパンにて 検討を加えた。
	減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価 (共同研究)	日本調理科学会 平成26年 度大会 (平成26年 8月29日 ～30日、県立広島大学、広 島)	食塩嗜好には慣れの現象がみられるとの報告があ ることから、減塩醤油を継続使用した場合の、低 塩に対する慣れの影響についてポスター発表を 行った。
	管理栄養士養成施設のT大学とK大学 2年生女 子の食生活状況 (共同研究)	第62回 東北学校保健学会 (平成26年 9月 6日、東北 生活文化大学、仙台)	両大学の食事調査では、エネルギー摂取量は平均 1413kcal、野菜摂取量は200g以下であり、全国の 同世代女性と同様に大幅な摂取不足が見られたこ とを報告した。
	減塩しょうゆを用いた減塩調理への慣れについ て (共同研究)	第26回福島県栄養改善学会 (平成27年 2月14日、ビッ グパレットふくしま、郡 山)	減塩しょうゆを 1か月間継続使用することは、減 塩調理に対する慣れと実質的な減塩につながるこ とを報告した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	震災後の学校における食育の課題（地域の食材活用等）解決に向けた取り組み～文部科学省指定『スーパー食育スクール』の実践報告から～（共同研究）	第26回福島県栄養改善学会（平成27年2月14日、ブックパレットふくしま、郡山）	今年度新地町では、文部科学省「スーパー食育スクール」の指定を受け、栄養教諭を中心に食を通じた健康増進、地産地消など食育の多角的効果を検証したので、その成果を報告した。
安 田 純 子	アボジニの生活文化と観光－オーストラリア社会参入への構想－	日本観光学会誌第55号、日本観光学会、2014年12月	オーストラリア先住民アボジニの生活と伝統文化の観光資源化について考察した。
関 口 晋 杉 沼 智 吉 川 梨 奈 菊 地 美 希 矢 吹 瞳 渡 辺 紫 帆 佐 藤 篤 史	ローズマリーの香気成分がタイピング作業において及ぼす生理・心理作用について（ポスター発表、共同）	平成26年 室内環境学会学術大会 講演要旨集 P.134-135	ローズマリーの香気成分がタイピング作業に及ぼす生理・心理作用について、作業環境の違いがどのように影響するかの検討
中 村 真智子 関 口 晋 先 崎 和 子 根 本 恵美子 郡 司 尚 子 前 方 美千子 横 田 和 子 本 間 杏 菜	福島県内栄養士・管理栄養士を対象とした管理栄養士に関わる意識調査（ポスター発表、共同）	第61回日本栄養改善学会、栄養学雑誌 第72巻第5号 特別付録p328（2014. 8 横浜）	福島県内の栄養士・管理栄養士を対象にアンケート調査を実施した結果、県内栄養士の活動状況、新人栄養士に対する期待や課題点など様々な情報を得ることができた。
先 崎 和 子	福島県内栄養士・管理栄養士を対象とした管理栄養士に関わる意識調査（ポスター発表、共同）	第61回日本栄養改善学会、栄養学雑誌 第72巻第5号 特別付録p328（2014. 8 横浜）	福島県内の栄養士・管理栄養士を対象にアンケート調査を実施した結果、県内栄養士の活動状況、新人栄養士に対する期待や課題点など様々な情報を得ることができた。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
根本恵美子	福島県内栄養士・管理栄養士を対象とした管理栄養士に関わる意識調査 (ポスター発表、共同)	第61回日本栄養改善学会、 栄養学雑誌 第72巻第5号 特別付録p328 (2014. 8 横浜)	福島県内の栄養士・管理栄養士を対象にアンケート調査を実施した結果、県内栄養士の活動状況、新人栄養士に対する期待や課題点など様々な情報を得ることができた。
亀田明美	論文：身長・体重のアセスメントによる学校給食エネルギー目標量の算定方法に関する検討 (共著)	日本栄養士会雑誌 第57巻 6月号p31-40	学校給食施設3施設(小学校、中学校、学校給食センター)において、児童生徒個々の身体測定値から推定エネルギー必要量を求め、その集団の中央値をもとに、学校給食で与与するエネルギー目標量を決定するまでの手順を検討した。
	論文：女子学生の給食管理実習のある日とない日の食事摂取量と食事区分別摂取割合の検討 (共著)	郡山女子大学紀要第51集 p141-154	給食管理実習のある日とない日に食事調査を実施し、女子学生の栄養素等の摂取状況や食事区分別の摂取割合が、給食の有無でどのように変化するかを検討した。
	ポスター発表：学校給食施設における児童生徒の身体状況等の把握の現状－福島県内の栄養教諭と学校栄養職員との比較－(単著)	第10回日本給食経営管理学会学術総会プログラム講演要旨集p44(日本給食管理学会)	福島県内の学校給食施設における、児童生徒の身体状況等の把握の現状を調査し、栄養教諭と学校栄養職員の把握状況を比較した。
	ポスター発表：給食管理実習で提供された給食の寄与率～管理栄養士養成課程に所属する女子学生の食事調査から～(共著)	第10回日本給食経営管理学会学術総会プログラム講演要旨集p40(日本給食経営管理学会)	給食管理実習の履修者を対象に食事調査を実施し、給食管理実習で提供された給食は、女子学生の1日の栄養摂取量にどの程度寄与しているのかを検討した。
佐藤浩明	バレーボールゲームにおけるスキルを関係させたトータル・ディフェンスに関する研究	日本体育学会 第56回大会 予稿集、ポスター発表 2014、8月	現代の世界トップレベルのバレーボールにおいてオフェンス側の条件が整った状況ではディフェンス側がサーブ、ブロック、ディグなどの個人スキルだけで防御する事は困難になっている。こうしたオフェンス有利の状況を打開するために、本研究はサーブとブロックを関係させるトータル・ディフェンス戦術に着目し、理論構築を試みた。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
紺野信弘 源川博久	(論文) 2 X II 医薬品副作用, 中毒性疾患 農薬	別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.30, pp 637-641	農薬の神経毒について解説した。ロテノンパーキンソン病モデルの作製に用いられ、作用機序を解説した。
源川博久	その他(新聞コラム) 食の力「お茶と健康」	福島民友新聞, 平成26年6月19日	日本人に身近な飲料の1つである緑茶の健康成分、GABAとテアニンの脳や神経への機能性について述べた。
	食の力「アルコールと健康」	福島民友新聞, 平成26年8月21日	アルコール摂取による問題点をエネルギーと代謝から生活習慣病のリスクを増加させることについて述べた。
	食の力「シルクを食べる？」	福島民友新聞, 平成27年3月5日	シルクの健康食品や化粧品などとしての使用状況、機能性の研究状況について述べた。
郡司尚子	福島県内栄養士・管理栄養士を対象とした管理栄養士に関わる意識調査 (ポスター発表、共同)	第61回日本栄養改善学会、栄養学雑誌 第72巻第5号特別付録p328 (2014. 8 横浜)	福島県内の栄養士・管理栄養士を対象にアンケート調査を実施した結果、県内栄養士の活動状況、新人栄養士に対する期待や課題点など様々な情報を得ることができた。
善方美千子	(学会示説発表) 福島県内栄養士・管理栄養士を対象とした管理栄養士に関わる意識調査 (共同研究)	第61回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集、栄養学雑誌 第72巻第5号特別付録 (平成26年8月 横浜)	福島県内の栄養士・管理栄養士を対象にアンケート調査を実施した結果、県内栄養士の活動状況、新人栄養士に対する期待や課題点など様々な情報を得ることができた。掲載頁：pp.328 共同発表者：中村真智子、関口 晋、先崎和子、根本恵美子、郡司尚子、善方美千子、横田和子、本間杏菜
中村真智子	福島県内栄養士・管理栄養士を対象とした管理栄養士に関わる意識調査 (ポスター発表、共同)	第61回日本栄養改善学会、栄養学雑誌 第72巻第5号特別付録p328 (2014. 8 横浜)	福島県内の栄養士・管理栄養士を対象にアンケート調査を実施した結果、県内栄養士の活動状況、新人栄養士に対する期待や課題点など様々な情報を得ることができた。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
横 田 和 子	福島県内栄養士・管理栄養士を対象とした管理栄養士に関わる意識調査 (ポスター発表、共同)	第61回日本栄養改善学会、 栄養学雑誌 第72巻第5号 特別付録p328 (2014. 8 横浜)	福島県内の栄養士・管理栄養士を対象にアンケート調査を実施した結果、県内栄養士の活動状況、新人栄養士に対する期待や課題点など様々な情報を得ることができた。
	給食管理実習で提供された給食の寄与率～管理栄養士養成課程に所属する女子学生の食事調査から～ (ポスター発表、共同)	第10回日本給食経営管理学会 学術総会プログラム講演 要旨集p40 (2014.11 京都)	給食管理実習の履修者を対象に食事調査を実施し、給食管理実習で提供された給食は、女子学生の1日の栄養摂取量にどの程度寄与しているのかを検討した。
	女子学生の給食管理校内実習のある日とない日の食事摂取量と食事区分別摂取割合の検討	郡山女子大学紀要第51集 p141-154	給食管理実習のある日とない日に食事調査を実施し、女子学生の栄養素等の摂取状況や食事区分別の摂取割合が、給食の有無でどのように変化するかを検討した。
	平成24～25年度「次世代に語り継ぐ 日本の家庭料理」聞き書き調査報告書	平成24～25年度「次世代に語り継ぐ 日本の家庭料理」聞き書き調査報告書 一般社団法人日本調理科学会「次世代に語り継ぐ 日本の家庭料理」委員会 福島県の調査報告、p.112～115	全国各地に残されている特徴ある料理について全国47都道府県の日本調理科学会会員が全国で多くの人々から聞き書き調査を行った結果を記載した報告書である。この研究は今後も継続する。 (會田久仁子、阿部優子、石川雅子、石村由美子、中村恵子、横田和子、津田和加子、福永淑子)
	マレーシアの魚の発酵食品チンチャロ (cinchalok) の諸成分と微生物について	淑徳大学 看護栄養学部紀要第7号 p53-57、2015年3月	ブラチャン (belacan) は、小エビを塩漬けにし、叩いて潰したペースト状のマレーシアの魚発酵食品である。その諸成分と微生物について検討し、知見を得た。(角野 猛、横田和子、石川雅子、本間祐子、眞鍋 久)

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
本間 杏菜	福島県内栄養士・管理栄養士を対象とした管理栄養士に関わる意識調査（ポスター発表、共同）	第61回日本栄養改善学会、栄養学雑誌 第72巻第5号 特別付録p328（2014. 8 横浜）	福島県内の栄養士・管理栄養士を対象にアンケート調査を実施した結果、県内栄養士の活動状況、新人栄養士に対する期待や課題点など様々な情報を得ることができた。
石村 由美子	平成24～25年度「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」聞き書き調査報告書	一般社団法人日本調理科学会「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」委員会	地域の特徴ある家庭料理について、平成24～25年度にかけて全国規模で聞き書き調査が実施された。担当した福島県内において、その土地で30年以上居住する方を調査対象者として、幼少期から現在に至るまでの暮らしの背景とともに食生活を振り返っていただいた内容について記録し、「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」としてまとめた報告書である。
	子どもの食生活実態調査（その2） －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成26年度大会（ポスターセッション 県立広島大学）	前年度の大会に続く報告で、前報「その1」では保育所及び幼稚園に通園する園児の食事の摂取状況や食事に伴う生活環境の実態調査について報告した。本報告は、間食の摂取状況や外食の利用状況について、また食事の様子等について調査結果を報告した。
	子どもの食生活実態調査（その3） －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成26年度大会（ポスターセッション 県立広島大学）	前報「その2」では保育所及び幼稚園に通園する園児の間食や外食についての利用状況や食事の様子についての調査結果を報告した。本報告では、食事を通して家族との関わり、食前食後の過ごし方等について調査結果について報告した。
	子どもの食生活実態調査 －福島県郡山市内の保育所・幼稚園児の調査より－	郡山女子大学紀要 第51集	平成24年から平成25年にかけて、福島県郡山市内の保育所・幼稚園児321名を対象に食生活調査を実施した集計結果を平成13年に郡山市内の3歳児992名を対象として実施した「幼児期健康食生活調査」の結果と併せて比較し、子ども取りまく実態の側面について報告したものである。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
太 宰 待 子	型絵染着物 「敦盛草」	第88回国展 国立新美術館 (東京・六本木) 2014. 5. 1～5.12	自然界にモチーフを求め、型絵染で「アツモリソウ」を表現した着物の作品 第88回国画会工芸部図録に掲載
	型染卓布 「敦盛草」ポストカード	第88回国展チャリティー展 工芸部 国立新美術館 (東京・六本木) 2014. 5. 1～5.12	<自然保護・社会福祉のためのチャリティー> 幾何学的構成で表現した型染卓布および型絵染着物「敦盛草」のポストカード
	型絵染着物 「野の花」	第23回河北工芸展(全国展) 宮城県仙台市せんだいメディアアーク6F 2014. 9.19～9.23	自然界にモチーフを求め、幾何学的構成で「野の花」を型絵染で表現した着物の作品 第23回河北工芸展図録に掲載及び河北新報社紙上作品掲載
	型染着物 「牡丹模様」 「秋 容」 「芭蕉模様」 「笹模様」	第2回国展工芸部染織作品展 銀座 文藝春秋画廊1・2F (東京都中央区銀座) 2015. 1.19～1.24	自然界にモチーフを求め、型絵染で表現した着物の作品(4点)
知 野 愛	「戦後農村生活改善普及事業における山本松代 の考え－家庭生活に対する考え方を中心に－」	「郡山女子大学紀要」第51 集pp.41-54(2015. 3)	農村生活改善普及事業を主導した農林省生活改善課初代課長、山本(大森)松代の「家庭経営」に対する考えを、家政系雑誌から抽出してまとめた。
	「戦後農村の生活改善普及事業と家庭経営－福 島県のスライド資料から－」(口頭発表)	日本家政学会第66回大会発 表要旨集p.113(於:北九 州国際会議場、2014. 5.25)	福島県内に残る農村生活改善普及事業のスライド資料を基に、家庭経営分野での生活改善内容を検討した。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	「生活改善普及事業と家政学の関連－初代生活改善課長・山本松代に関して－」（口頭発表）	日本家政学会東北・北海道支部第59回研究発表会要旨集p.13（於：東北女子大学、2014. 9. 6）	戦後家庭科教育の基礎作りに携わり生活改善課初代課長を務めた山本松代に注目し、生活改善普及事業の内容と家庭科教育・家政学との接点を探った。
古山 幹雄	タイピング能力に対するノートPCとタブレットPC利用間の差異	第39回全国大会講演論文集 教育システム情報学会	近年、スマートフォン・タブレット端末の急速な普及による新社会人のパソコンスキル低下が懸念されている。 情報教育においてキーボード操作は学習効果を保障する重要な要素であるが、タブレットPCの導入によりタイピング能力が低下する恐れがある。そこで、タブレットPCとノートPCの環境を用意し、タイピング能力測定結果を分析した。結果、タブレットPCとノートPCでは測定結果に大きな差異は見られないことが確認できた
山口 猛	タイピング能力に対するノートPCとタブレットPC利用間の差異	第39回教育システム情報学会全国大会（和歌山大学 2014. 9.11）	近年、スマートフォン・タブレット端末の急速な普及による新社会人のパソコンスキル低下が懸念されている。情報教育においてキーボード操作は学習効果を保障する重要な要素であるが、タブレットPCの導入によりタイピング能力が低下する恐れがある。そこで、タブレットPCとノートPCの環境を用意し、タイピング能力測定結果を分析した。結果、タブレットPCとノートPCでは測定結果に大きな差異は見られないことが確認できた。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
阿 部 優 子	平成24～25年度「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」聞き書き調査報告書	一般社団法人日本調理科学会「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」委員会	地域の特徴ある家庭料理について、平成24～25年度にかけて全国規模で聞き書き調査が実施された。担当した福島県内において、その土地で30年以上居住する方を調査対象者として、幼少期から現在に至るまでの暮らしの背景とともに食生活を振り返っていただいた内容について記録し、「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」としてまとめた報告書である。
	子どもの食生活実態調査（その2） －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成26年度大会（ポスターセッション 県立広島大学）	前年度の大会に続く報告で、前報「その1」では保育所及び幼稚園に通園する園児の食事の摂取状況や食事に伴う生活環境の実態調査について報告した。本報告は、間食の摂取状況や外食の利用状況について、また食事の様子等について調査結果を報告した。
	子どもの食生活実態調査（その3） －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成26年度大会（ポスターセッション 県立広島大学）	前報「その2」では保育所及び幼稚園に通園する園児の間食や外食についての利用状況や食事の様子についての調査結果を報告した。本報告では、食事を通して家族との関わり、食前食後の過ごし方等について調査結果について報告した。
	子どもの食生活実態調査 －福島県郡山市内の保育所・幼稚園児の調査より－	郡山女子大学紀要 第51集	平成24年から平成25年にかけて、福島県郡山市内の保育所・幼稚園児321名を対象に食生活調査を実施した集計結果を平成13年に郡山市内の3歳児992名を対象として実施した「幼児期健康食生活調査」の結果と併せて比較し、子ども取りまく実態の側面について報告したものである。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
齋 藤 理 沙	子どもの食生活実態調査（その2） －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成26年度 大会（ポスターセッション 県立広島大学）	前年度の大会に続く報告で、前報「その1」では保育所及び幼稚園に通園する園児の食事の摂取状況や食事に伴う生活環境の実態調査について報告した。本報告は、間食の摂取状況や外食の利用状況について、また食事の様子等について調査結果を報告した。
	子どもの食生活実態調査（その3） －保育所・幼稚園児の調査より－	日本調理科学会平成26年度 大会（ポスターセッション 県立広島大学）	前報「その2」では保育所及び幼稚園に通園する園児の間食や外食についての利用状況や食事の様子についての調査結果を報告した。本報告では、食事を通して家族との関わり、食前食後の過ごし方等について調査結果について報告した。
	子どもの食生活実態調査－福島県郡山市内の 保育所・幼稚園児の調査より－	郡山女子大学紀要 第51集	平成24年から平成25年にかけて、福島県郡山市内の保育所・幼稚園児321名を対象に食生活調査を実施した集計結果を平成13年に郡山市内の3歳児992名を対象として実施した「幼児期健康食生活調査」の結果と併せて比較し、子ども取りまく実態の側面について報告したものである。
會 田 久仁子	Nブックス 栄養指導論（第2版）	建帛社（2015年3月）	栄養士課程「栄養指導論」の教科書。栄養士関連の法規改正に伴った内容になるよう、「日本人の食事摂取基準2015」に準拠して全面的に再執筆、編集した。分担執筆した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	平成24～25年度「次世代に語り継ぐ 日本の家庭料理」聞き書き調査報告書	一般社団法人日本調理科学会「次世代に語り継ぐ 日本の家庭料理」委員会 (2015年6月)	一般社団法人日本調理科学会の特別研究テーマである。伝統的な地域の料理が親から子へ伝承されにくい傾向にある現代、聞き書きを通して次世代に伝え継ぐ家庭料理を、その暮らしの背景と共に記録した。全国各地に残されている特徴ある料理について全国47都道府県の日本調理科学会会員が全国で多くの人々から聞き書き調査を行った結果を記載した報告書である。福島県の調査を担当した。
水野時子	『ライフステージ栄養学実習書』(共著)	(株)光生館 (2015年3月)	「第6章学童期の栄養」において、「栄養の特性」「献立作成上の留意点」「実習のための症例」「モデル献立」「実習後の評価項目」を解りやすく示した。
小林澄枝	実力ある栄養士養成のために	『日本栄養士会雑誌』Vol.57 No. 6 pp.23 2014	実力ある栄養士の育成には、給食管理をベースにした知識と調理技術の向上及び、校外実習事前指導の強化である。
石川雅子	一般社団法人日本調理科学会 特別研究 平成24～25年度 『次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理』聞き書き調査報告書	一般社団法人 日本調理科学会 『次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理』委員会 (2014. 6 発行)	一般社団法人日本調理科学会主催の特別研究である『次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理』として、福島県（今回は伊達市霊山町、白河市表郷）の居住者を対象に家庭料理の調査を行った。本報告書は、その結果を全国の調査結果とともに報告書としてまとめたものである。
	『郡山市史 続編4 2002（平成14）年～2011（平成23）年』 第2編社会 第1章市民生活 第1節商業施設の変化 第2節日常生活の変化	郡山市史編さん委員会 (2014.10.24発行)	郡山市の2002（平成14）年から2011（平成23）年までの10年の歴史のうち、<日常生活の変化>の<食>にかかわる4項目を担当執筆した。pp.296～297

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
三瓶 令子	「養成校のピアノ授業における学生の心理的ストレスに関する一研究」	日本保育学会第67回大会 ポスター発表 (2014, 5, 17) 個人研究	幼児教育学科のピアノの授業における学生の心理的ストレスはどのようなものかについて、個人レッスンと集団レッスン (ML) との比較とともに、教師との関係性から考察した。
	「オペレッタの舞台表現を通じた協働的創造の学び」	全国大学音楽教育学会・東北地区学会 (2014, 6, 22) 共同研究	本学幼児教育学科の学生が、卒業研究として選択したオペレッタの教育的効果について、保育者養成の視点より考察した。
	幼稚園園歌の作曲・披露	学校法人みらい幼稚園 (2014, 10, 25)	「学校法人みらい幼稚園」創立10周年を記念して、当幼稚園園歌の作詞・作曲をし、10周年記念式典に於いて披露した。
一柳 智子 (上野)	東日本大震災による民俗芸能の継承への影響 -平成25年度福島県民俗芸能継承状況アンケート調査結果から-	『比較舞踊研究』第21号、 比較舞踊学会 平成27年 3 月31日予定	平成25年度筆者が受けた福島県委託事業「福島県民俗芸能継承状況アンケート調査」結果をもとに、東日本大震災が民俗芸能の継承にどのような影響を与えたかについて再考した。
畠山 祥正	保育者のまなざしを育てるⅡ -学生の自己評価と実習幼稚園の指導との関係をめぐって-	郡山女子大学紀要第51集 (2015.3) 共著 (鈴木祥子)	幼稚園実習の学生を自己評価と実習園の評価から4タイプに分け、抽出した学生を個々に分析して検討した。
早川 仁	「戸惑うピエロ」F-50号 キャンバス・油彩	福島県総合美術展 (洋画の部) 会期H-26、6/20 (金) ~6/29 (日) 福島県文化センター・委嘱 出品	未だ収束しない原発事故による県民の不安を表現した。
	「燃える朝焼け」F-50号 キャンバス・油彩	福島県県南美術展 会期H-26、10/16 (木) ~10/19 (日) 郡山市文化センター	猪苗代湖を背景イメージとして、凍てつく季節から遠い春の日差しの気配を表現し、震災からの復興を模索し始めた県民の心情を重ねてみた。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「錯乱」F-50号 キャンバス・油彩	現代童画展 会期H-26、11/8(土) ～11/15(土) 東京都美術館	原発事故への怒りをアイロニーとして表現した。 ・会友推挙
草 野 葉 子	「SAKURASAKU・2014・February」	第64回モダンアート展 東京都美術館 平成26年4月1日～4月16日	「見る」「見える」ことをテーマとした、三角柱の鏡と鏡面による虚像をモチーフとした構成作品。
	「colorful-I seeds」 「colorful-I flowers」	ふくしま在住作家展 銀座アートスペース羅針盤 平成26年7月21日～7月26日	花やその種子を組み合わせた画像の構成作品で、福島豊かな自然を表現。
	「SAKURASAKU・II・JULY」	第29回モダンアート 福島支部展 郡山市民ふれあいプラザ 平成26年7月29日～8月3日	「見る」「見える」ことをテーマとした、三角柱の鏡と鏡面による虚像をモチーフとした構成作品。
小 林 徹	(著書) ①実践保育内容シリーズ ④「言葉」共著	平成26年4月1日 一藝社 (分担) 137-147頁	谷田貝公昭 監修・編、廣澤満之 編 執筆：荒牧美佐子、後藤正矢、小林徹、並木真理子、西方毅、野尻美枝、廣澤満之、前田敬子、村上凡子、村木桂子、吉田貴子、米川泉子、和田美香、計13名 本書は、保育5領域のねらいと内容をまとめた保育者養成のテキストシリーズの第4巻である。「言葉」の領域の諸側面を15章立てで解説している。筆者は第13章「言葉に関連する障害」を担当し、言葉の障害の種類、発見の手立て、障害への対応について述べた。(A5型169頁)

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	②特別支援教育と国語教育をつなぐことばの授業づくりハンドブック共著	平成26年7月31日 溪水社 (分担) 113-131頁	<p>浜本純逸 監修、難波博孝・原田大介 編 執筆者：新井英靖、伊藤伸二、稲田八穂、氏間和仁、落合俊郎、菅野和恵、<u>小林徹</u>、高井和美、高野美由紀、高橋浩平、永田麻詠、中野聡子、難波博孝、原田大介、平賀健太郎、藤井明日香、古山勝、三寺美穂、山下恵子、湯浅恭正、計20名</p> <p>本書は、特別支援学級・学校および通常学級における子どもたちのことばの力を伸ばすための授業づくりの実践と理論を解説する指導書である。筆者は第Ⅲ部第3章「中学校・高等学校 思春期の育ちを支えることばの授業」を執筆した。 (A5型210頁)</p>

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	③自閉症スペクトラム児の教育と支援共著	平成26年11月6日 東洋館出版社 (分担) 126-131頁	樋口一宗・丹野哲也 監修、全国特別支援学校知的障害教育校長会 編 執筆者：明官茂、樋口一宗、石塚謙二、丹野哲也、三苫由紀雄、市川宏伸、齊藤宇開、伊藤英夫、小池敏英、新井利明、森山徹、立松英子、瀧川猛、渡部匡隆、坂井聡、杉本まゆき、堀口潤一郎、八鍬洋祐、河場哲史、糸川雅美、入澤徹、藤松ふみ、中林由利子、田中珠美、駒野典子、守田健志、濱亜紀子、下鳥美奈、黒田紀子、有澤直人、霜田浩信、 <u>小林徹</u> 、飯田直樹、植田記久乃、戸山育子、小林光寛、今島裕子、島田有規、岡田円一、川口徹、真鍋ゆかり、野澤良介、福田佳代子、鳥居夕子、田極透、近藤幸男、月森久江、箕輪優子、梅永雄二、尾崎祐三、武藤まさ子、松浦美穂、林健太郎、岩本伸一、野田誠、岩佐延寿、坂内仁、江寄智宏、末石忠史、花木敦、森田修示、西村優紀美、藤田誠、井上雅彦、松為信雄、計65名 本書は、全国の教育、医療、福祉、労働等の関係者や特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室等の教員たちによって幼児期から卒業後まで、自閉症スペクトラム児の発達段階に応じた指導・支援の在り方をまとめたものである。筆者は、第VI章中学生段階の指導の実際の中の「3・指導計画」「4・指導内容,指導方法」を担当した。 (A5型214頁)

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
④知的障害教育における学力問題 －「学ぶ力」「学んでいる力」「学んだ力」－ 共著	(学会発表) ①保育者に養成課程で身につけさせるべき障害 児支援の専門性 共同	平成26年11月19日 ジアース教育新社 (分担) 136-152頁	監修 渡邊健治 編集 丹羽登、岩井雄一、半澤 嘉博、中西郁 執筆者：渡邊健治、半澤嘉博、中西郁、渡辺裕介、 山川研、高橋浩平、明官茂、松井務、小林徹、日 高浩一、三浦光哉、早川透、渡邊流理也、丹羽登、 計14名 本書は、これまであまり取り上げられてこなかつ た知的障害教育における学力問題について、約1 年間にわかって論議を重ねた研究会の中間まとめ である。筆者は、第9章「青年期知的障害生徒の 発達と学力」を担当した。(B5型218頁)
		平成26年9月 日本特殊教育学会 第52回大会 (高知大学)	(企画)橋本陽介・小林徹(司会)小林徹(話題 提供)橋本陽介・松浦淳・相楽典子・野澤純子 (指定討論)七木田敦・高橋幸子 統合保育の現場や障害児施設などでは、多くの保 育士資格や幼稚園教諭免許状の取得者(以下、保 育者)が、障害児支援にあたっている。一方、保 育者養成課程では、様々な授業で障害児支援が取 り上げられている。しかし、これらの授業は、授 業者の意図や専門性に応じて構成されている。 従って、保育者になる学生たちが身につける障害 児支援の専門性は、養成校によって異なる。そこ で本シンポジウムでは、保育者の養成課程で身に つけさせるべき障害児支援の専門性を議論した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	②障害児保育の専門性に関する検討 単独	平成26年11月 平成26年度全国保育士養成 協議会 東北ブロックセミナー秋田 大会 (秋田大学)	これから保育者になる学生たちに対して、特に身につけさせたい、障害児保育に関わった力(専門性)を、障害児の教育システムとして推進されてきた特別支援教育に関する研究を参考にして整理し、今後の障害児保育の授業改善を目指した。近年「専門性」という概念自体が変遷していることを概観した上で、「障害児保育の専門性」と「保育者の専門性」の関連を明らかにすることが今後の課題になると考えられた。
鈴木 祥子	保育者のまなざしを育てるⅡ －学生の自己評価と実習幼稚園の指導との関係をめぐって－ (共著)	『郡山女子大学紀要』第51 集 (2015. 3)	「学びの姿勢」の前提となる学生の自己評価を、実習園の評価と比較しつつ、4つの類型を設定し、学生のタイプを分析し検討した。
	Disaster Prevention of the Rehabilitation Facilities for the Disabled (共同研究)	第7回異分野融合地域防災 研究シンポジウム報告書 佐賀大学異分野融合地域防 災プロジェクト編 (佐賀大学2014)	施設への防災意識についてのアンケート調査を分析し、その結果を報告した。
鍋山 友子	ポスター発表(共同) 生活上のリスクに関する検討 －放射性物質汚染に関するリスクコミュニケーション－	(一社)日本家政学会第66 回大会 平26年5月24日 開催地：北九州国際会議場 研究発表要旨集P.65	本学および東京都内専門学校生を対象として、除染に関する意識と行動実態調査を実施。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	Queen'sDancingShowcase2014に出演 (主宰 Queen's Dancing Studio 甲野藤一恵)	平成26年12月14日 会場：学校法人郡山開成学 園建学記念講堂	出演曲目 1. I'm The One You Need 2. Roar 3. Good Time 4. Hold That 5. Final
	河原央・新井いづみ現役引退披露晩餐会 アマチュアデモンストレーションダンスに出演 (主催 現役引退披露晩餐会実行委員会)	平成26年4月20日 会場 グランドプリンス ホテル新高輪「飛天」	出演種目：Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生 (元全東北プロスタン ダードA級チャンピオン JBDF審査員)
	イノウエトシマロ・ダンスワールド 15thAnniversarySummerParty アマチュアデモンストレーションダンスに出演 (主宰 井上俊磨・佳奈)	平成26年6月29日 会場：磐梯熱海 ホテル華 の湯	出演種目：Waltz 鍋山友子／井上俊磨先生 (元全東北プロスタン ダードA級チャンピオン JBDF審査員) 出演種目：Rumba 鍋山友子／武石京介先生 (現全東北プロスタン ダードA級チャンピオン)
	イノウエトシマロ・ダンスワールド Autumn Night2014 アマチュアデモンストレーションダンスに出演 (主宰 井上俊磨・佳奈)	平成26年11月30日 会場：郡山 迎賓館グラン プラス	出演種目：Slow Foxtrot 鍋山友子／井上俊磨先生 (元全東北プロスタン ダードA級チャンピオン JBDF審査員) 出演種目：Rumba 鍋山友子／武石京介先生 (現全東北プロスタン ダードA級チャンピオン)
	郡山ダンススクール 37thAnniversary2014ChristmasDancerParty アマチュアデモンストレーションダンスに出演 (主宰 杉原孝・静江)	平成26年12月21日 会場：郡山ビューホテルア ネックス	出演種目：Slow Foxtrot 鍋山友子／井上俊磨先生 (元全東北プロスタン ダードA級チャンピオン JBDF審査員)

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
山 上 裕 子	論文：単著 知ることにおける非合理的なるもの － デューイの「脈絡と思考」を手がかりにして－	郡山女子大学研究紀要 第51集	知ることにおける非合理的なるものの所在を明確にした論文。明確な探究活動がまだ難しい幼児期にも通底する学びの相の一端を示した。
	発表：単独 デューイのいう「生の素材」再考－幼児の教育を中心にして－	日本デューイ学会 第58回研究大会	デューイの幼児の教育思想について、「生の素材」の再考を提案した論文。幼児の遊びが成長の潜在的パワーとなること、内的素材となる「生の素材」に注目すべきことを指摘した。
折 笠 国 康	中学校での学級集団成熟度アップへの支援	日本教育カウンセリング学会 第12回研究発表大会発表論文集, 41-42	教師の言動は生徒同士のコミュニケーションの質にも影響を及ぼすことになる。こうした意味からも、一次的・二次的援助サービスの適正化という視点で重要なのは、何より学級内での教師と生徒間のコミュニケーションの質である。
永 瀬 悦 子	地域医療を担う病院が行う一般市民向け健康教育活動の役割に関する研究～出前講座の講師と企画側の意識調査から～（単著）	日本健康教育学会誌 第23回日本健康教育学会学術大会講演集	人口32万の中核都市にあるA病院において地域住民の健康に関する意識向上を目的として出前講座に取り組み10年を経過した。10年間の出前講座の動向を踏まえ、講座の講師と企画者側の意識調査を実施した。その結果を検討することで病院が行う一般市民向けの健康教育活動の役割を明らかにした。
	小学生を対象とした「命のつながり」の健康教育前後の変化と体験学習の学びの関係に関する研究（第1報）（単著）	小児保健研究 第61回日本小児保健協会学術集会講演集	「命のつながり」の健康教育を実施前と実施後に質問紙調査を実施し、授業前後の児童の認識の変化と体験学習との学びとの関係をウィルコクソン符号順位付順位と検定と質的統合法にて分析した。
	「産婆さん」という愛称で慕われる開業助産師の地域母子保健活動の一事例～女性と共にある専門職の役割～（単著）	第45回日本看護学会～ヘルスプロモーション～学術集会抄録集	地域で開業している助産師の地域母子保健活動の中から女性と共にある専門職の役割を見出した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	地域母子保健を担う開業助産師の助産師実践活動の展開過程～ A県の助産所の実態調査～ (単著)	第45回日本看護学会～ヘルスプロモーション～学術集会抄録集	A県における助産所12か所を対象とした調査研究であり、開業助産師の助産師実践活動の内容や助産所の地域における実態を明らかにした。
	学会シンポジウム (口頭発表) 命の萌芽が健やかに育つための健康教育～子どもの「学び」から考える～	FOURWINDS乳幼児精神保健学会 第17回全国学術集会 シンポジウム「地域復興における“いのち”が生まれ、育み、つながる環境を考える」	東日本大震災後、福島県の子どもの数が激減した。里帰り分娩数も減少する状況下で、育つ子どもたち、これから子どもを産もうとする妊産婦がいる。厳しい状況にあっても命の芽をしっかりと守り育つための成育環境が求められている。その中で、命の萌芽が健やかに育つための健康教育を子どもの学びから解説し、その効果についても言及した。
伊 藤 哲 章	(論文) イギリスの初等科学教育に関する一考察 - 初等科学教科書 (Key Stage 1・2) を中心に - 高校生のバイオテクノロジーに対する意識 - 農業高校における植物バイオテクノロジー教育の影響 - (報告書) 環境教育に関わるイギリス初等科学教科書の分析	郡山女子大学紀要第51集。 日本生物教育学会「生物教育」第55号, 第1巻, pp.24-32, 2014. 平成23～25年度科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究成果報告書 代表大高泉 (筑波大学), pp.33-40, 2014.	イギリス初等科学教科書 (Key Stage 1・2) を分析し、その特質を明らかにした。 農業高校において植物バイオテクノロジーの授業を受けた高校生のバイオテクノロジーに関する意識の変容を調査し、その影響を明らかにした。 イギリスの初等科学教科書の環境教育に関する内容を分析し、その特質をあげた (第4章担当)。
	(学会発表) 環境教育に関わるイギリス初等科学教科書の分析	日本科学教育学会研究会 (宇都宮大学), 2014年4月.	イギリスの初等科学教科書の環境教育に関する内容を分析し、その特質をあげた。
	アメリカ合衆国におけるSAT生物試験のバイオテクノロジー分野の特質	日本科学教育学会研究会 (山形大学), 2014年11月.	アメリカの大学入学試験 (SAT生物) のバイオテクノロジー分野を分析し、その特質を論じた。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
久 家 三 夫	第91回春陽展	国立新美術館・東京	・「寓意の門」F130号・キャンパスにアクリル・金箔・「この世界の真理の可視化」を試みている。 平成26年4月 ※会員出品
	第68回福島県総合美術展	福島県文化センター	・「この火を諷めよ」F30号・キャンパスにアクリル・金箔 平成26年6月 ※招待出品
	第3回春陽会福島研究会展	福島県文化センター	・「寓意の門」F130号・キャンパスにアクリル・金箔 ・「ひとすくいの水」F100号・キャンパスにアクリル・金箔 ※第91回春陽展受賞作家展2014との同時開催として開催された。春陽展受賞者作品62点とともに福島研究会会員10名の作品20点を展示。平成26年9月 ※会員出品
	第9回会津美里町総合美術展	ふれあいセンター郷の風	・「神の火は神のもとへ」F30号・キャンパスにアクリル・金箔 平成26年9月※招待出品
	第82回福島県美術協会展	福島県文化センター	・「寓意の門」F130号・キャンパスにアクリル・金箔 平成26年11月 ※会員出品
浅 野 章	「輝きびと」	第88回・国展 東京六本木国立新美術館 2014年5月 その後、愛知県美術館ギャラリー・大阪市立美術館・福岡市立美術館を巡回	「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した大型作品（182×227cm）、1点を発表。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	「素描」	同上・チャリティー展 2014年5月	同上テーマの素描作品1点を発表。
	「大地の女-Ⅲ」	国画13の視線展 東京銀座ギャラリー向日葵 2014年5月	同上テーマの作品1点を発表。
	「輝きびと-14 No3」	第68回・福島県総合美術展 福島県文化センター 2014年6月	同上テーマの作品1点を発表。
	「陽の当たる人」	遊A会展 郡山市ギャラリー柏屋 2014年7月	同上テーマの作品2点を発表。
	「踊る女」	オーロ遊び展 いわき市アートスペース泉 2014年8月	同上テーマの作品1点を発表。
	「弾ける女」	上海城美術博覧会 中華人民共和国上海市 豪貨精洗酒店ギャラリー 2014年9月	同上テーマの作品1点を発表。
	「赤い絵」	第58回・郡山市総合美術展 郡山市民文化センター 2014年11月	同上テーマの作品1点を発表。
	「水の中の花」	浅野アキラ絵画展 東京銀座ギャラリーあづま 2014年12月	同上テーマの作品23点を発表。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
小 松 太 志	第64回モダンアート展	東京都美術館／東京都台東区（2014年4月）	コンピュータ特性を活用した画面分割と質感表現による構成表現。作品名「Di-Vision SO-I」他
	第29回モダンアート福島支部展	郡山ビッグアイ／福島県郡山市（2014年7月）	コンピュータ特性を活用した画面分割と質感表現による構成表現。作品名「Di-Vision SO-III」
	－あだたらの視点 2013－ 福島青年美術の展望展	あだたら高原美術館／福島県二本松市（2014年11月）	平面を積層により立体的に表現し、その造形的魅力を探究。作品名「Layer Vision」
松 田 理 香	「よあけまえ」F8号	2014年現代童画会春季展 （2014.4 / 銀座アートホール）	エアブラシ表現を中心としたイラストレーション作品
	「北の耀」F80号	第40回現代童画会展 （2014.11 / 東京都美術館）	同上
	[BLACKをテーマにした小品] negative emotions「後悔」・「空虚」「諦念」 「困惑」「無念」 計5点 / S 8号	Color Party 2014 in福島 「BLACK」展 （2015.1 / 武蔵野芸術大学校友会基礎デの会&福島県支部 共同企画 / 会津稽古堂市民ギャラリー）	エアブラシ表現を用いた平面構成作品
黒 沼 令	・「観望」	・第88回国展彫刻部 国立新美術館 2014年5月	・作品サイズ 200×80×50cm ・素材 檜、桂

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	・「すます」	<ul style="list-style-type: none"> ・第68回福島県総合美術展 福島県文化センター 2014年6月 ・二日展 福島テルサ 2014年8月 ・第51回福島県彫刻会展 福島県文化センター 2014年10月 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品サイズ 170×70×50cm ・素材 檜 福島県立美術館長賞受賞
	・「うれう」	<ul style="list-style-type: none"> ・第37回国展彫刻部秋季展 東京都立美術館 2014年10月 ・福島青年美術の展望展 あだたら高原美術館ao 2014年11月 ・ColorParty2014Black福島展 会津稽古堂 2015年1月 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品サイズ 160×60×45cm ・素材 桂、朴
	・「拘束」	<ul style="list-style-type: none"> ・第58回郡山市総合美術展 郡山市文化センター 2014年12月 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品サイズ 80×30×40cm ・素材 桂、朴
草 野 順 子	「ゆらめき」	第88回国展 東京六本木国立新美術館 2014年5月1日～12日	F130号 キャンバス・油彩

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	「希」	福島県総合美術展覧会 福島県文化センター 2014年6月20日～29日 第65回福島県南美術展 郡山市民文化センター 2014年10月16日～19日	S50号 キャンバス・油彩 福島県南美術展にて、 一般の部 佳作
	「老犬」「流されゆく」 「揺らめき」「行方」	二日展 福島テレサ 2014年8月15日、16日	F3号 キャンバス・油彩・アクリル
	「待ちわびて」	第58回郡山市総合美術展 (前期) 郡山市民文化センター 2014年11月2日～8日	F100号 キャンバス・油彩 洋画の部 奨励賞
	「想い」 「待つわたし」	ART WAVE銀座6丁目交 流展 ギャラリー一暁 2014年12月1日～6日	F8号 キャンバス・油彩
	「誓い」 「恋い焦がれ」	第2回 Japanese Art Festival in New York hpgrp Gallery NEW YORK 2014年12月18日～2015年1月 16日	F3号、SM号 キャンバス・油彩・アクリル
岡部 富士夫 作品発表	管弦楽のためのコンポジション (再演)	11月16日 郡山女子大学建 学記念講堂	福島県高文連において管弦楽のためのコンポジ ション第一番が演奏された。
編曲	野薔薇に寄す他	11月30日 福島こむこむ	アンサンブル・フェスタ 合唱団風のため野薔薇 に寄すその他を編曲

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
作曲	舞踊音楽 シンデレラ	1月31日 郡山市民文化センター	舞踊祭り 花柳流による舞踊劇の作曲
指揮	スプリングコンサート	4月20日 郡山市民文化センター	郡山吹奏楽団のスプリングコンサートを指揮 白鳥の湖他
	創立50周年記念リサイタル	6月8日 郡山市民文化センター	郡山女声合唱団の創立50周年記念リサイタルを指揮 三善晃作品他
	アンサンブルフェスタ	7月6日 福島市音楽堂	合唱団風を指揮 佐藤眞作品他
	県合唱コンクール	8月31日 会津風雅堂	開成の杜女声合唱団を指揮 木下牧子作品他
	郡山市お母さんコーラス祭り	9月11日 郡山市民文化センター	郡山女声合唱団を指揮 信長貴富作品 開成の杜女声合唱団を指揮 木下牧子作品他
	合唱コンクール東北大会	9月28日 青森県民会館	開成の杜女声合唱団を指揮 木下牧子作品他
	県お母さん合唱祭	10月12日 郡山女子大学建学記念講堂	県お母さん合唱連盟主催合唱祭において郡山女声合唱団を指揮
	郡山女子大学定期演奏会	10月25日 郡山女子大学建学記念講堂	郡山女子大学短期大学部音楽科定期演奏会の合唱指揮
	本宮市民の歌CD制作	11月18日 本宮市	本宮市の委嘱により市民の歌を指揮、録音
深谷 登喜子	奏楽堂日本歌曲コンクール	平成26年5月11日	東京都台東区民センター
	郡山女声合唱団50周年記念演奏会	平成26年6月8日	郡山市民文化センター
	福島県合唱コンクール	平成26年8月31日	会津風雅堂
	復興支援コンサート	平成26年9月6日	須賀川市文化センター
	全日本合唱コンクール東北大会	平成26年9月28日	青森県民会館

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	第45回郡山女子大学定期演奏会	平成26年10月25日	郡山女子大学建学記念講堂
	郡山市明健中学校音楽教室	平成26年11月7日	郡山市立明健中学校
	須賀川音楽協会音楽発表会	平成26年11月9日	須賀川市文化センター
横 溝 聡 子	(演奏) 第14回フルートで奏でるバロック音楽～C. P.E.バッハ生誕300年	平成26年9月10日 東京オペラシティ 近江楽堂	クヴァンツ：トリオ・ソナタ イ短調 C.P.E.バッハ：トリオ・ソナタ ホ長調 他、4曲。(チェンバロ)
	佐野悦郎リサイタル&フルート室内楽 フルート・アンサンブルの楽しみXIV 2014	平成26年12月12日 東京オペラシティ リサイ タルホール	ロリッヒ：3本のフルートとピアノのための 『ブルレスク』作品64 クーラウ：3本のフルートとピアノのための 『ルル ファンタジー』 (ピアノ)
	(論文) ヨハネス・ブラームスのピアノ・ソナタについての一考察	平成27年3月 郡山女子大学研究紀要第51 集	ブラームスのピアノ・ソナタ第1番第2楽章の主 題の動機を基に、3曲のピアノ・ソナタについて 考察した。
磯 部 哲 夫	(論文) 学習指導要領音楽の〔共通事項〕についての一 考察 ～音楽を形づくっている要素と修辞学の 関連性～ (後編)	郡山女子大学紀要第51集 (2015. 3)	学習指導要領音楽に新設された〔共通事項〕の音 楽を形づくっている要素に修辞学を取り入れ、歌 唱共通教材を修辞学的音楽解釈し、音楽修辞であ るフィグーラを用い、中学校歌唱共通教材の楽曲 アナリーゼを解説した。
	(学会発表) 音楽を形づくっている要素と修辞学の関連性 についての一考察	平成25年度全日本音楽教育 研究会大学部会 (2014.10、 於：東京音楽大学) 平成25 年度全日本音楽教育研究会 大学部会会誌 (2015. 3)	音楽を形づくっている要素の一つとして「修辞 学」を取り入れ、歌唱教材を修辞学的音楽解釈で アナリーゼすることを試み、児童、生徒の多様な 感性に対応できる可能性があることを考察した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	(報告書) 教員養成における資質向上のための特別支援学校との地域連携 (共著)	全国私立大学教職課程研究 連絡協議会「私立大学の特色ある教職課程事例集」 (2014. 5)	教育的な地域連携として、郡山女子大学と郡山養護学校との寄宿舎指導員補助の自主研修の内容と評価等の事例を報告書としてまとめた。
	(演奏) 郡山女声合唱団創立50周年記念リサイタル	郡山市民文化センター中ホール (2014. 6. 8)	プログラムの一つとして、越谷達之助「初恋」、レハール喜歌劇「メリー・ウィドウ」より二重唱“唇は語らずとも”を演奏し、日本歌曲とオペレッタの歌唱法を考察した。
	第45回郡山女子大学短期大学部音楽科定期演奏会	郡山女子大学建学記念講堂大ホール (2014.10.25)	シューマン歌曲集「詩人の恋」Op.48より、7曲を取り上げ、ドイツ歌曲における歌唱法の研究演奏を行った。
	会津演奏家連盟会員によるスプリングコンサート	會津稽古堂 (2015. 3. 7)	プログラムの一つとして、シューマン歌曲集「詩人の恋」Op.48より、8曲を取り上げ、ドイツ歌曲における歌唱法の研究演奏を行った。
南 川 肇	東京クラリネットフィルハーモニー サマー キャンプ演奏会	蔵王アストリアホテル 3月13日～16日	グリーク ホルベルク組曲 他
	第12回チャペルコンサート	郡山女子大学建学記念講堂 10月12日	多田栄一浮遊する林檎 クラリネット6重奏のために 他
	東京クラリネットフィルハーモニー第33回定期 演奏会	トッパンホール 3月30日	J.ヴァン・デル・ロースト リクディム 他
野 沢 謙 治	郡山市史統編4通史 共著	郡山市 平成26年10月	全784頁 「文化の概況」(pp655～658)「市の文化行政」(pp659～662)「市民の文化活動」(pp694～717)「民俗文化」(pp746～756)を分担執筆

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	郡山の歴史 共著	郡山市 平成26年10月	全217頁 「新教育制度と社会文化活動」(pp163～164)「教育文化の進展と市民の文化活動」(pp181～182)「教育、文化施設の充実」(pp193～194)を分担執筆
	書評倉石忠彦著 『身体伝承論－手指と性器の民俗－』 単著	「日本民俗学」280号 平成26年12月	全5頁 民俗学者による初めての身体の民俗についての論考についての批評と身体の民俗についての今後の研究方法を指摘。
齋藤 美保子	「上村松園作品展」を読み解く	『郡山女子大学紀要』第51集 (2015年3月)	ネーチャードームの「上村松園作品展」を参照し、女流画家上村松園の美人画を分析すると共に、同展示を指示した関口富左先生の教養教育観を論じた。
	成島柳北から浅井忠へ－滞欧詩の系譜－ (口頭発表)	日本漢詩文学会第五回例会 (2015年3月15日 共立女子大学)	浅井忠の滞仏漢詩(1901年)に成島柳北の洋行(1872年)が与えた影響を論じた。
何燕生	(訳書) 『語録的思想史－解析中国禅』(小川隆著、岩波書店出版)	復旦大学出版社、2014年3月10日、上海	著者小川隆の『語録的思想史－中国禅の研究』の全訳。禅問答から「思想」を読み取ろうとする著者の意欲的な書物。
	(論文) 1. 12－13世紀東亜禅宗與儒教：試論道元關於三教一致説批判の対象及其背景	『台湾東亜文明研究学刊』第11巻第1期(総第21期)、国立台湾大学人文高等研究院、2014年6月。135－163頁。査読あり。	以前学会で口頭発表した論文。南宋時代に流行していた「儒・仏・道の三教が同じ教えだ」とする学説を道元がどう批判したか、なぜ批判したかについて考察した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	2. 簫蕙父先生の禅学論述	『中国哲学書写範式反思暨紀念簫蕙父先生冥誕90周年學術研討會論文集』、武漢大學哲學院・國學院編、2014年11月。95-100頁。査読有り。	20世紀50年代の中国哲学における禅宗研究の特徴について、哲学者であり、筆者の恩師でもある簫蕙父氏の業績を取り上げて論じた。
	3. ポスト災害社会における宗教の役割と死生観のゆくえ	『法然仏教の諸相-藤本浄彦先生古稀記念論文集』、藤本浄彦先生古稀記念論文集刊行会編、法蔵館（京都）、2014年12月。953-983頁。査読有り。	四川大地震と東日本大震災における宗教者の対応を比較検討し、20世紀90年代の「自然葬」志向の動向及び震災死などの問題について検討した。
	4. 「理解的学術：關於日本学者末木文美士对浄慧長老的訪談与交流」	『第五届黄梅禅文化論壇論文集』（上冊）、湖北省民族宗教委員會、黄梅四祖寺編（中国）、2014年12月。403-409頁。査読有り。	1990年代に「生活禅」の提唱者である浄慧法師を訪問した日本人研究者・末木文美士氏の記録とその後の二人の交流を考察した。
	(学会発表) 1. 「生活禅は日本にも適応できるか-『宗教学』授業のアンケートから」	印度学宗教学会第56回学術大会、種智院大学（京都）、2014年6月1日	本学の「宗教学」授業で行われたアンケート調査をもとに、「生活禅」が果たして日本に適応できるかどうかを検討した。

氏 名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概 要
	2. Dogen's Transformation of Chan in to Zen	World Conference on Sinology 2014, The Exchange and Learning between "East" and "West": 400 Years in Retrospect. 6, September, 2014. Renmin University of China, Beijing	When Dogen used his native language to understand the concepts of Chinese Zen Buddhism he was not a stickler for maintaining the exact Chinese wording. He was much more free about this, enriching the explanation With meaning. In this essay ten, we compare the similarities and differences in Dogen's respective concepts of Chinese Zen Buddhism found in his Chinese and Japanese writings.
	3. 「中国における社会参加仏教－「生活禅」を中心に－」	日本宗教学会第73回学術大会、同志社大学（京都）、2014年9月13日。	現代社会における宗教の役割が求められる中、「生活禅」がどのような対応をしているかを「社会参加仏教」の概念を導入して論じた。
	4. 「理解的学術：關於日本学者末木文美士对浄慧長老的訪談与交流」	第五届黄梅禅文化論壇、湖北省民族宗教委員会、黄梅四祖寺主催（中国）、2014年12月5日	1990年代に「生活禅」の提唱者である浄慧法師を訪問した末木文美士氏の記録とその後の二人の交流を考察した。
	5. 「対佛光山人間佛教理論与实践的建議」 (講演) 「互為他者：中日禅宗研究的特色」	第二届人間仏教座談会、台湾佛光山主催（台湾）、2014年12月14日。 武漢大学哲学院講座教授授与式、2014年11月10日、武漢大学哲学院（中国）	仏光山の人間佛教の理論と実践についての日本人研究者の研究を通して検討し、その問題点などを指摘した。 胡適と鈴木大拙の二人による禅宗史研究を比較し、それぞれの問題関心の違いや特徴について検討した。
桑 野 聡	《書評》桜井利夫「一三世紀ヴェルフェン家の城塞支配権とアムト制」（『金沢法学』55巻2号、2013年）	『法制史研究』64（2015. 3.）	桜井利夫氏の研究成果を書評。これまでの城塞研究を概観し、その研究経緯の中に表題の論文を位置づけるとともに、ヴェルフェン研究の立場から3点の指摘を行った。

氏名	著書・論文・発表名	掲載誌・発行所・学会	概要
	「博物館の新しいかたちを求めて－平成26年度全国大学博物館学講座協議会・東日本部に参加して」	『文化学科資格課程報告集』第17集（2015. 3.）	平成26年10月11日に女子美術大学相模原キャンパスで開催された学会の内容を報告した。 掲載頁（58～59頁）
	「郡山市図書館協議会「図書館視察研修」に参加して－川口市立図書館と新潟県立図書館・新潟市立中央図書館の取り組み」	『文化学科資格課程報告集』第17集（2015. 3.）	平成26年2月20日～21日に実施された視察研修について司書課程を学ぶ学生に図書館協議会の活動を伝えるために報告した。 掲載頁（60～61頁）
	[口頭発表] 「“シンデレラ”から見るヨーロッパ文化の諸相」	放送大学福島学習センター 公開講演（郡山） 2015. 2.15.	シンデレラ物語を手掛かりに歴史史料として用いられてこなかったメルヘンを、歴史的に分析する試みを紹介した。
會田容弘	著書 『猪苗代湖畔に消えた旧石器時代遺跡－福島県笹山原No.27遺跡の細石刃石器群の研究』	東北大学大学院文学研究科 考古学研究室 （鹿又善隆・高原要輔と共編著）	昭和40年頃に圃場整備により破壊された旧石器遺跡の散乱した遺物を採集し、集成したものである。本来あったであろう場所の発掘調査を実施し、遺跡が残っていないことを確認した部分を分担執筆。
	論文 「山形県湯の花遺跡出土黒曜石資料の産地分析（第2報）」	『岩宿』第3号pp. 7-16 （建石徹ほか共著）	山形県小国町湯の花遺跡出土の全黒曜石の産地同定を行った。その結果、北海道白滝、秋田県脇本、青森県深浦、長野県小深沢などが産地であることがわかった。細石刃石器群を用いる旧石器人が極めて広い行動領域をもっていたことが初めて、実証された。
	論文 「付章4 葉菜原No.15遺跡における石器製作技術分析」	加美町教育委員会 編 『葉菜原No.15遺跡Ⅱ』 pp.147-169	葉菜原No.15遺跡出土石刃石器群を技術的に分析した。その結果、有機質ハンマーと軟石ハンマーの直接打撃によって石刃を剥離していることが明らかになった。
	論文 「笹山原遺跡No.16第14次発掘調査」	『第27回東北日本の旧石器文化を語る会』 予稿集pp.25～33	2015年に発掘調査を行った笹山原遺跡No.16の旧石器時代の調査成果を報告し、第2石器集中の人間行動について、考察を行った。

氏 名	著 書・論 文・発 表 名	掲 載 誌・発 行 所・学 会	概 要
	論文 「2014（平成26）年度文化学科考古学発掘実習 報告－笹山原遺跡No.16第14次発掘調査－」	『文化学科（資格課程）報 告集』第17集	2015年に発掘調査を行った笹山原遺跡No.16の成 果を報告し、古代・旧石器時代の人間行動を復元 した。
	口頭発表 「縄文土器の製作・使用・廃棄行動の研究－会 津若松市笹山原遺跡No.16の資料を用いて－」	2014年東北史学会大会 （於：福島大学） （柿沼梨沙と共同）	笹山原遺跡No.16の縄文土器製作技術を動作連鎖 概念を用いて復元した。
仲 田 佐和子	「平成26年度博物館実習報告」	『文化学科（資格課程）報 告集』第17集、 平成27年3月	博物館学外実習6施設の報告を考察し、次年度の 博物館実習授業を展望した。
	「東京国立博物館見学会報告」	『文化学科（資格課程）報 告集』第17集、 平成27年3月	文化学科学生に初の試みとして東京国立博物館と 上野周辺の文化施設自由見学を実施し、今後の博 物館見学の指針を考察した。

【社会活動】

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
関口 修	医療法人安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画、収支予算に関する検討
	一般財団法人短期大学基準協会	理事長 短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る
	日本私立短期大学協会	会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与
	私立短期大学教育振興会	会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応
	全私学連合代表者会議	議員 全私学の振興、諸施策等について協議
	日本私立学校振興・共済事業団運営審議会	委員 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す
	文部科学省高等教育局 大学設置・学校法人審議会 (学校法人分科会)	特別委員 高等教育に関する法人の管理運営等に関すること
	日本私立大学協会 全 東北支部	評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること
	一般社団法人全国栄養士養成施設協会	理事 栄養士養成施設の教育内容の充実、運営、養成制度の検討、職域拡大等
	福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議	顧問 オリンピック・パラリンピック教育の推進、大会機運の醸成等取組を進める
影山 彌	郡山市情報公開審査会	委員 郡山市情報公開制度の運用状況全般や、公文書一部開示決定に係る異議申し立てについて審議し答申をまとめる。
	郡山市個人情報保護審査会	副委員長 郡山市民の個人情報の保護に関して広く審議する。
	家政学原論部会東北・北海道地区委員	当地区大学における家政学原論研究を振興し、家政学の学問的確立を促進する。
石堂 常世	日仏教育学会 会長	創立32年目を迎える日仏教育学会の会長として、2014年度は理事会を4回開催（於：東京）し、日本とフランスの教育研究の交流と2014年度研究大会（於：大阪大学）の成功を導いた。
	公益財団法人 日工組社会安全財団	評議員として、年3回の会議（於：東京）に出席し、日本における犯罪や犯罪予防・少年非行防止・薬物乱用防止等に関する研究助成の審査に参加し、12月5日には当財団・全国少年警察ボランティア協会・読売新聞社主催、内閣府・警察庁・文部科学省後援「小学生作文コンクール 私のおまわりさん」の第23回表彰式に参列し、全国から選ばれた子どもたちを祝福した。
	早稲田大学社会安全政策研究会	招聘研究員として、毎月の研究会議のうち5月、8月、1月と3回参加し、早稲田大学法学研究科の教授・准教授・助手・外部機関の専門家たちと「子どもの非行・虐待防止のための地域社会ネットワークの実証的研究」（科研費）に参加し、とくに地域の力による少年健全化の組織や支援活動について研鑽を積んだ。2015年2月20日には郡山市教育委員会総合教育センターで、市内の子どもたちの最近の傾向や少年健全化のための地域力についてインタビューした。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	横浜市公立学校教員採用試験特別委員	政令都市横浜市の公立小学校・中学校・高等学校の教員採用試験に関して6月～9月に顧問として関わり、どのような教員が自治体にとって望まれるのか、どのような考査によって求められる人材を適正に選別し採用できるか、これらについて考察を重ね協力した。
	平成26年度郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新制講習講師）	7月29日の午前中に、以下の2つの講習を行った。内容的に盛り込み過ぎであったようなので、次年度の話題と資料は選別していく方針である。 ・講義「学校をめぐる近年の状況変化」 ・講義「教員としての子ども観、教育観についての省察」
	講演：「子どもの問題、家庭の問題、子どもが親から受けとめる宝物」	公益社団法人福島県宅地建物取引業協会喜多方支部から依頼を受け、公益社団法人としてふさわしい社会貢献活動の一環として家庭の親を対象とする講演を依頼され、9月21日、大和川酒造北方風土館において、まちの人々のために「健全な家庭教育とはどういうものか」という問題意識のもとに表題の講演をした。
	2014年度全国私立大学教職課程研究連絡協議会 大学代表として2名で参加	2014年度の本研究会は札幌市の北海学園大学で開催された。2部構成で行われ、第Ⅰ部は基調講演「魅力ある選手を育てる」と、第Ⅱ部はシンポジウム「私が思う魅力ある教師」、これらの終了後、7月に文科省が出した「教員の養成、採用、研修の改善について～論点整理～」の読み方と対応について、全私教事務局長からの説明と解釈のポイントが示された。後者については、小中一貫の流れの中、複合免許状の設置と取得が課題となるため、今後の各大学での対応がかかってくる。翌月開催された教職課程推進室委員会に、関係書類を配布して説明し、情報共有をした。
	郡山市 都市計画審議会委員、および都市計画マスタープラン改訂分化合会委員	大震災前にできた郡山市都市計画プランの大幅見直しのための審議会に委員として参加し、居住2年目の新鮮な視点で見つめてきた郡山市の特色やすぐれた点を提示すると同時に、推進してほしい面の指摘をして都市計画改訂版の策定に加わった。平成26年6月審議開始、平成27年3月報告書を出して完了。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	シンポジウムのパネルディスカッション登壇	上記の都市計画審議会の提言等を郡山市民に広く理解してもらおう趣旨で、審議委員のうち3名と品川萬里市長の4名が登壇して、「震災復興後の新たな都市づくりについて－躍動感ある都市のダイナミズムを求めて－」のパネルディスカッションが2014年11月5日、市内のメグレスホールで行われ、石堂は「復興を牽引するために郡山市が担うべき役割－郡山のまち・暮らしの魅力と震災後のまちの変化」という題で意見を述べた。 報道：福島民友2014年11月6日、福島民報2014年11月7日。
	講演：「「また行ってみたい」と思わせるまちづくり夢プラン～これからの喜多方市のために～」	すでに14年以上喜多方大使を拝命しているが、今回も、まちとしての発展が低迷しがちなこの喜多方市に対して強いメッセージが欲しいという依頼を受け、不十分ではあったが、観光都市として成功している町づくりをしているいくつかの町興し事例を挙げ、またフランスのパリや、郡山市の優れている都市景観等を挙げ、同時に喜多方市の街並み変遷をパワーポイントで振り返りながら、どのようにしたらこのまちをまた訪れてみたいと願うまちにし得るのか、市民の方々に話をした。2014年12月23日、於：喜多方プラザ小ホール。主催：喜多方市、喜多方商工会議所、他。 報道：福島民報2014年12月24日、福島民友2014年12月27日。
	放送大学 福島学習センター 講師	講座名「道徳教育の展開にみるお国柄考」の授業名で、12月13日～14日にかけて8コマの講義を行った。知・徳・体の中の「徳」の教育は、国によって大きく異なり、その背景にはその国の近代化の過程とその特徴が絡んでいる。道徳教育強化の動向の中で、感性に訴える郷土愛型道徳教育の復活を、他国の徳育の動向と比較検討しつつ理解を深めた。24名の定員。パワーポイントコマ数77。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県文化振興審議会 委員	福島県では県文化振興審議会の名の下に、本件の文化進行条例に基づいて、文化の振興に関する基本計画を立てている。その計画の進行を促進し、支援し、管理する審議会である。その第1回会議（2015年2月17日）が県庁西庁舎12階講堂で行われた。「人間力・地域力・文化力」の3つの力でハーモニーを奏でるという基本理念に立ち、多様で特色ある地域資源を活かし、文化振興を地域の復興や活性化につなぐという趣旨から、数多くの文化活動、文化遺産の継承と発展が盛り込まれたプランが示された。委員各位の自己紹介を兼ねた福島県文化振興への意見を求められた。
武 井 玲 子	郡山市建築審査会（委員）	建築許可等に関する議案について調査及び審議を行う。区分担当は、公衆衛生分野
	（一社）日本家政学会色彩・意匠学部会（部会長）	研究者間の共同研究推進、交流を通して、色彩・意匠学の学術研究成果を高め、家政学の発展に寄与する。
	（一社）日本家政学会色彩・意匠学部会	第36回夏季セミナー実行委員会（委員長） 平成26年8月21～22日、信州大学繊維学部（長野県上田市）にて、「繊維の温故知新を知り、色彩・意匠学の今後を考える」をテーマに公開講演会と上田紬に関連した施設見学・実習の企画・運営を担当した。
	放送大学非常勤講師	平成26年6月14～15日 「生活と福祉 科学的視点からみた快適な衣生活」
	郡山女子大学人間生活学科主催市民講座「暮らしの1ページ」（講師）	平成26年度7月26日 「暮らしの1ページ」「環境にやさしい衣生活」の講演を行った。
	平成26年度KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）	平成26年7月30日 「快適な衣生活」をテーマに講義

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
小 阪 康 治	一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構 倫理担当委員 動物実験委員会委員	
山 形 敏 明	公益財団法人郡山市観光交流振興公社 平成26年度郡山女子大学人間生活学科市民講座講師	評議委員として評議委員会に出席 平成26年度郡山女子大学人間生活学科主催の市民講座の講師を務める。 2014年7月
山 本 裕 詞	NPO法人リソースセンターワン監事 教員免許状更新講習会（本学主催）講師 精神保健福祉会宮城県スクールソーシャルワーク部会講師	発達障害児の自立支援を目的に、発達相談や治療教育及び講演活動等を行う当該法人において、理事の業務執行状況を監査した。（通年） 「法令改正及び国の審議会の状況等」、「様々な問題に対する組織的対応の必要性」以上の内容について講義。（2014年7月） 「学校・家庭及び地域関係者の協働を支える法制度環境の理解－教育法制を中心に」について講演。（2014年11月）
難 波 めぐみ	郡山市技能労働者選考委員会 日本家政学会 色彩・意匠学部会夏季セミナー実行委員会 桃見台地域公民館 独立行政法人日本学術振興会研究事業部 科学研究費委員会専門委員会	委員・郡山市の産業発展に貢献した卓越技能者の選定及び表彰（9、10月） 委員・平成26年度色彩・意匠学部会夏季セミナー実行委員会委員としてセミナーの運営サポート（8月） 青少年対象事業トライキッズスクール事業企画及び運営サポート（12月） 科学研究費助成事業の配分等に関する第1段審査（12、1月）
熊 田 伸 子	郡山市介護保険運営協議会 郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員（副委員長） 第六次郡山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に携わった。 委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、介護保険施設整備について協議した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市地方社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会	委員（副委員長） 高齢者福祉に関する郡山市からの諮問事項（今後の高齢社会対策のあり方と施策の方向性、高齢者の交通手段の確保、敬老祝金事業の見直し等）について審議し、郡山市長に答申した。
	平成26年度サマーリフレッシュプログラム （教員免許状更新講習）	講師「高齢者を支える福祉サービス」
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
佐 藤 典 子	愛知サマーセミナー	特別講演講師 テーマ「N.SATOの生活科学実験～糖度測定～」
	東京都・市町村共催講座	講師 テーマ「味覚探検 in青梅 甘い味のひみつ」 小学校低学年の親子を対象にして夏休みに開催された。
	東京都・市町村共催講座	講師 テーマ「ミルクの変身 ～バターとチーズ作り～」 小学校高学年の親子を対象にして夏休みに開催された。
	東京都三鷹市消費生活講座	講師 テーマ「震災と消費生活 ～お鍋でご飯を炊いてみよう～」
	日本食生活学会評議員	平成26年度より、評議員を拝命した。
	郡山市消費生活審議会委員	平成26年10月より2年間の任期で、委員を拝命した。
	第62回福島県高等学校家庭クラブ連盟 研究発表大会	学校家庭クラブ部門、ホームプロジェクト部門の審査員を務めた。
堀 琴 美 (笹田)	郡山市教育振興基本計画審議会	委員 教育基本法に基づく郡山市教育振興基本計画（平成27年度以降）の策定にあたり、必要な事項を審議する委員として意見を出し審議会に参加した。
	福島県立医科大学ハラスメント対策委員会	委員 ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正等の審議等。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	エフパネットふくしま (福島虐待問題研究会)	理事 福島県を中心に、虐待問題に関する広報活動や研究活動、相談業務などを行う団体で、運営の支援や相談技能の指導・訓練を行っている。
	一般社団法人リエゾン 平成26年度よりそい型相談 支援事業(全国・被災地) 専門対応業務	専門員 電話相談「よりそいホットライン」の相談員に対するスーパーバイズおよびアドバイスをを行う。また、相談員研修も継続的に行っている。
	郡山市男女共同参画サポート事業 さんかく教室	講師 郡山市の男女共同参画推進をサポートし市民への啓発を行う出前講座で「DV・虐待の被害者支援」を担当。障害者施設に講師として赴いた。
	平成26年度家庭教育応援プロジェクト 沢田小・中学校親子の学び応援講座	講師 石川町沢田小学校父母と教師の会により開催された教育講演会で、「子どもの発達とメディアの影響」の講師を務めた。
	福島いのちの電話震災相談シンポジウム	コーディネーター 震災・原発事故後4年間の相談記録を福島県独自の視点で分析し、その結果を報告する公開講座において、シンポジウムのコーディネーターを務める。
渡 邊 英 勝	浜松市天竜区社会福祉協議会下阿多古地区地域福祉 研修会講師	下阿多古地区住民に対して、地域福祉講演会を企画した浜松市社会福祉協議会の依頼により講演した。
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業企画・運営の協力
	郡山女子大学家政学部人間生活学科 「市民講座」	第2部「地域福祉とボランティア～その基本的視点」講師
	生涯学習講座	生涯学習講座「社会福祉法制」にて郡山市民を対象に講義を行った。
	富士宮市社会福祉協議会ふくしのまちづくりサポ ーター養成研修会講師	地区社会福祉協議会の活動をサポートするボランティアの養成研修
	富士宮市社会福祉協議会ふくしのまちづくりサポ ーターフォローアップ研修会講師	ふくしのまちづくりサポーターのステップアップ講座

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	富士宮市地域福祉推進セミナー講師	富士宮市・市社協の共催事業、地域福祉活動の充実・発展に繋げていく。
泉 秀 生	「郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業」調査研究委員会	郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催の調査研究委員会において、子どもの遊びと運動、食事の実態把握のための調査ならびに対応策の検討に携わっている。
	日本食育学会	食育研修委員会 委員長 早稲田大学にて開催された第一回食育セミナーの企画・運営した。
	日本幼児体育学会	理事 学会の運営や学会大会の企画・運営に携わっている。
阿 部 恵利子	日本木材学会環境委員会	委員 木材利用における環境影響、地域への波及効果等について検討した。
	福島中央テレビ (FCT)	「これから梅雨の時期で気を付けたい生活全般のアレコレについて」取材協力 (2014. 6. 5 放送)
	平成26年度郡山女子大学サマーリフレッシュ講師	平成26年度郡山女子大学サマーリフレッシュ (教員免許更新講習) 選択領域の講師を務める。2014年 8 月
廣 野 正 子	福島県社会福祉協議会	講師 平成26年度介護福祉士受験準備講習会
	福島県社会福祉協議会	講師 2014年度 介護福祉士 全国統一模擬試験の解答・解説
	本宮市地域連合事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
	第27回介護福祉士国家試験実地試験委員	第27回介護福祉士国家試験 (実技試験) 試験監督
長 田 城 治	日本建築学会東北支部歴史・意匠部会	幹事。歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に幹事として携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	日本建築学会民家小委員会	委員。民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告を行った。
	文化庁委託事業 近現代建築資料全国調査	調査員。文化庁委託事業である近現代建築資料調査に携わり、建築資料の所在状況調査などを行った。
	文化庁、宮城県委託事業 宮城県近代和風建築総合調査	調査員。文化庁が推進する近代和風建築総合調査の宮城県における調査活動に調査員として協力し、蔵王町や七ヶ宿町の調査を行った。
	東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター	共同研究員。文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（平成22年度～26年度）『複合的保存修復活動による地域文化遺産の保存と地域文化力の向上システムの研究』に関する各種調査、研究、講演活動などを実施した。
	福島県国見町「歴史まちづくり計画」	調査員。国土交通省認定「歴史まちづくり計画」策定に向けた調査を行い、国見石に関する採掘、利用調査や、国見石製の建造物悉皆調査を実施した。
	高畠石の会	顧問。「高畠石の会」（山形県高畠町）の顧問として、高畠石に関する調査活動、まちあるき、講演などを行った。
	講演会：公開講座	講演発表「高畠石の魅力を活かしたまちづくり」主催：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
	講演会：高畠石の会総会	講演発表「高畠石の利用と特徴」主催：高畠石の会
	講演会：大井沢地区大日寺史跡保存会	講演発表「大日寺の修験道建築」主催：大井沢地区大日寺史跡保存会
	講演会：高畠町竹森地区講演会	講演発表「大笹生石の生産と住宅利用」主催：高畠町竹森地区
	講演会：石工サミットⅡ	講演発表「高畠石の採掘の歴史」主催：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター 後援：高畠町教育委員会

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	講演会：まちづくり勉強会「新たな重伝建地区・村田－各地の取り組みから学ぶ」	パネラーおよび企画・運営。主催：日本建築学会民家小委員会。協力：村田町、村田町教育委員会
	シンポジウム：第2回国見町歴史まちづくりシンポジウム	講演発表「国見石と石蔵－石のまち国見の魅力」主催：国見町歴史まちづくり推進室
	シンポジウム：地域文化遺産シンポジウム	講演発表「石とともに生きる」主催：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター。後援：西川町教育委員会、大江町教育委員会、高畠町教育委員会・山形市教育委員会、山形県教育委員会
	シンポジウム：地域・観光・文化遺産の視点からみた「山形・70年の変容」	講演発表「地域文化遺産の再発見－高畠の石から高畠石へ」主催：東北芸術工科大学
	体験イベント：石工サミットⅡ	高畠石の採掘丁場を会場に、高畠石の採掘体験（角石・間地石）や石落とし見学、地元中学校吹奏楽部による演奏などを行うイベントの企画・運営を行った。主催：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
	展覧会：高畠町郷土資料館企画展「地域の宝再発見展」	高畠町郷土資料館を会場に、同館主催の企画展で展示する説明パネルなどを制作した。主催：高畠町郷土資料館
	展覧会：文化財保存修復研究センター研究成果展「ヤマノカタチノモノガタリ－地域文化遺産の保存と伝承」	文翔館（旧山形県庁）を会場に展覧会の展示計画・設計を担当し、展示用パネルの製作を行った。主催：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
	展覧会：本山慈恩寺御開帳展	本山慈恩寺御開帳展の展示設計、照明計画などに携わった。主催：本山慈恩寺、寒河江市、山形デスティネーションキャンペーン
	制作：本山慈恩寺御開帳展観覧者配布用パンフレット	本山慈恩寺御開帳展に来場した観覧者に配布する展示説明用のパンフレットの制作を行った。
	調査協力：福島県ヘリテージマネージャー養成講座	福島県で実施されているヘリテージマネージャー養成講座における国見町の歴史的建造物調査に協力した。主催：国見町

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	寄稿：東海大学山形高等学校平成27年度入学募集案内	東海大学山形高等学校の平成27年度入学生募集用のパンフレットに同校の卒業生として寄稿した。
遠藤 恵	(一社)家政学会色彩・意匠学部会 第36回夏季セミナー実行委員会委員	平成26年度8月21～22日、信州大学繊維学部（長野県上田市）にて、「繊維の温故知新を知り、色彩・意匠学の今後を考える」をテーマとした公開講演会と上田紬に関連した施設見学・実習の運営サポートをした。
	桃見台地域公民館	青少年対象事業トライキッズスクール事業企画及び運営サポート（12月）
藤本 健四郎	(独)科学技術振興機構 (シーズ発掘試験査読評価委員)	委員（平成24年4月1日～27年3月31日） イノベーション創出を目的とした「シーズ発掘試験」の研究課題の選定ならびに事後評価を行った。
	(研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）専門委員)	(平成26年度～平成28年3月31日) 研究課題の選考に関わる事前評価および研究終了後の事後評価
	日本油化学会関東支部	幹事 支部主催の行事の検討
	日本食品科学工学会	東北支部評議員 支部の運営
	日本食生活学会	理事 学会の運営
	第57回農業実験実習講演会ならびに教員免許状更新講習会	講師を務め、「季節と栽培法が野菜のおいしさと栄養価に与える影響」について講義した。
広井 勝	「食生活研究」編集委員会	編集委員として雑誌の編集に関与
	きのこサイエンス講座（緑化センター）	講師として、食毒きのこの見分け方、きのこ放射能、きのこの生態などについて解説（2014.6.9）
	市民フォーラムの開催「人間生活ときのこ」	郡山女子大学主催のフォーラムの世話人ならびに講師をつとめる（2015.3）

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	平成26年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状講習会)	家庭科教員を対象とした食の分野で「食生活ときのこ」を講師として担当(本学)(2014.8)
	郡山市公衆衛生大会	講師として「食生活ときのこ」を講演(2014.11)
諸岡信久	日本農芸化学会東北支部会	参与 (平成26年4月～現在に至る)
	アカデミア・コンソーシアム福島(文部科学省・大学間連携共同推進事業) 大学が発信する「入学前教育」・放射線の状況・対策に関する情報発信担当委員	委員 (平成26年4月～現在に至る)
	郡山テクノポリス推進機構研究評価委員会	委員(平成26年4月～現在に至る)
	秋田市校長研修会(秋田市教育委員会)	講師 講演「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業～具体的内容と方法について～」(平成26年8月)
	福島県/郡山女子大学連携事業(日本原子力研究機構協力)「放射線と除染について」	福島県と郡山女子大学学生サークルNLS部による市民への放射線の説明と除染の理解を目的とし、震災や原発事故についての郡山女子大学の取り組みについて発表した。本件に郡山女子大学環境委員会委員とNLS部の顧問として尽力した。(平成26年9月)
	放送大学福島学習センター	講師 講義「福島県の生物環境の放射能汚染」(平成26年11月)
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2014出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表(平成26年12月)
	福島県立安達東高校キャリア教育	講師 講義「産業社会と人間～福島でいきたくこと～」(平成27年2月)
紺野信弘	郡山市あさかの学園大学	講師・「生涯学習講座」

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	日本衛生学会	評議員として会の運営に協力
	市民フォーラム「超高齢化社会における健康問題」	郡山女子大学主催のフォーラムで「わが国の人口構成の変遷」について講演
藤原 建樹	郡山市災害給付金審査委員長	震災関連死に関わる審議委員会
	公益財団法人てんかん治療研究振興財団理事	理事として本財団の運営に貢献した。
西山 慶治	福島県立医科大学倫理委員会専門部会員	福島県立医科大学で実施する臨床試験研究に対する倫理審査の職務を2年間担当する。
	第34回人体解剖トレーニングセミナー	名古屋大学医学部で開催のセミナーで、医療系大学や養成校の解剖学の教官に対して人体解剖実習を指導した。
	福島県立医科大学での人体解剖学の講義と実習指導	非常勤講師として医学部2年生に解剖学の講義と実習、並びに口頭試問をそれぞれ3回ずつ実施した。
	仁愛看護福祉専門学校並びに仁愛高校専攻科（会津若松市）での解剖学の講義と実習の指導	非常勤講師として看護学の学生に解剖学の講義と実習を行った。
楯野 信子	福島民友新聞コラム「食の力」	分担執筆で、「⑥多彩なベルギービール」、「⑱メキシコのお酒テキーラ」、「㉔ワインの酸味」を担当し、わかりやすく解説した。
	福島県食品産業協議会	郡山女子大学が本協議会の特別会員になっていることから、本学代表窓口として、総会および研修会に出席し産学官との交流を深めた。
	郡山市食育推進協議会	会長として、郡山市食育推進計画の進行状況、その他食育の推進に関すること等について、協議会を代表し、会務を総理した。
	平成26年度ふくしま・6次化創業塾 [上級] 6次化マスターコース	既に6次化に携わっている福島県内の事業者を対象とした新たな販路開拓について、1対1の対面により課題解決に向けた相談・指導を行った。
	福島県農業総合センター農業短期大学校	非常勤講師として、「農畜産物加工」を担当した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県農業総合センター農業短期大学校運営会議	委員として、本大学校が、適切かつ円滑に運営されるよう、その教育・研究等の基本的事項について協議した。
	県南調理師会 調理師試験予備講習会	講師として、調理師試験対策のための「調理理論」、「食文化概論」、「栄養学」の予備講習を行った。
	アサヒビール園メニュー共同開発（第3弾、第4弾）	ビール園にて提供するメニューとして、女子学生が考案した福島県産品を使用した新メニューについて、共同開発に携わった。
	日本伝統食品研究会	幹事として、会の運営に携わった。
菊 池 節 子	スーパー食育スクール推進委員	新地町は今年度文部科学省より「スーパー食育スクール」の指定を受け、町内4小・中学校において食育推進プロジェクト事業を展開している。食育を通じた健康増進、地産地消の推進など食育の多角的効果についての検証、食育のモデル実践プログラムの構築などに携わっている。
	「郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業」 調査研究委員会	郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催の調査研究委員会において、子どもの遊びと運動、食事の実態把握のための調査ならびに対応策の検討に携わっている。
	郡山市委託事業「食育ハーモニー講演会」	講師 PEP Kids Koriyamaにおいて、幼児の保護者を対象に「だしのおいしさ」についての講話、さらに子どもと一緒に作るだしを使った簡単な調理の紹介ならびに各種だしの試飲体験を行い、だしの大切さについての再認識を図った。
	郡山市桃見台公民館主催「トライキッズスクール」	講師 長期の休みに子どもの居場所作りを目的としたトライキッズスクールにおいて、小学生全学年を対象に「夏のおまかせランチづくり」の体験活動を通し、子どもたちの自主性や協調性を養い、心身共に健やかな青少年の育成を促す企画に携わった。
	須賀川市長沼公民館主催 「がっつ！わいワイ自然塾」	講師 小学生高学年を対象に「食育教室－体がほしがる栄養素」のテーマのもと、地元の食材を用いた栄養バランスのよい間食の実習、夏バテ防止の水分補給の方法についての講話を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市立安積第二中学校体験授業	講師 1・2年生女子生徒を対象に、「スポーツ時の水分補給のお話し」の模擬授業を実施した。
	特定非営利活動法人 ハートフルハート主催 「福島の子ども希望プラン」	講師 震災・原発事故後、低線量の中で生活する福島の子どもたちを対象に、健康的な生活を送るための生活の見直しや対処法を身につけてもらうことを目的とした「福島の子ども希望プラン」において、「小学生低学年コース宿泊プラン」、「小学生中・高学年コース宿泊プラン」の二回にわたって、パネルシアターや野外調理を通し、バランスの良い食事の取り方や免疫力アップの食生活について、子どもたちと一緒に学んだ。
	日本家政学会 食文化研究部会	東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。
	公益社団法人 福島県栄養士会	理事として会の運営に携わっている。
	日本栄養改善学会東北支部 平成26年度市民公開講座	実行委員として講座運営のための協議・広報・当日の運営に携わった。
	福島放送 「いただきます！ふくしまのブランド“天のつぶ”」	ふくしまのブランド米“天のつぶ”の魅力とおいしい炊き方、食べ方を5週にわたり紹介する番組の中の3週を担当し、「天のつぶ」にピッタリのおいしい食べ方を考案して紹介した。「目が天！どんぶり」(2014.11.23)、「手巻き寿司」(2014.11.30)、「おむすび」(2014.12.7)
	福島民友新聞「食の力」	郡山女子大学食物栄養学科「食の力」において、食文化や震災後の運動・生活調査結果について紹介した。 五節句：季節を味わう「日本の文化」(2014.4.23) 子どもの健やかな成長を願って：地域性大きい柏餅と粽文化(2014.5.1) 震災後の運動・生活調査から：子どもたちに正しい習慣を(2014.7.24)
石 田 智 宏	日本タッチアンドフラッグフットボール協会 福島県立郡山東高等学校	理事長 学校評議員

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
安田純子	国際女性の地位協会 オーストラリア学会 日本観光学会	編集委員、『国際女性』（尚学社発行） 理事・編集委員、学会運営（特に国際学会）・大使館ならびに豪日交流基金関連行事・学会誌「オーストラリア研究」第28号編集 北海道・東北支部会評議委員、学会実施
関口晋	日本私立短期大学協会 運営問題委員会 公益社団法人福島県栄養士会	私立短期大学の管理運営や教育制度等に関する研究 生涯教育研修会の講師（平成26年9月18日）
岡部聡子	福島県保健福祉部 主催 「献血できる健康なからだ作り」について 郡山女子大学附属高等学校「産業人講習会」 小野町国民健康保険事業 「ヘルシー料理教室」 郡山市総合地方卸市場運営協議会委員	健康教育推進講習会 講師 貧血を予防するための食事のとり方について講話した。 講師 「働くとは」について食物科1年から3年生を対象に講話した。 講師 基礎代謝量の測定を実施し、1日に必要な適正エネルギー量について伝えるとともに、健康の維持増進に向けたヘルシー料理教室における野菜摂取量増量に向けた取り組みを行った。 協議会委員として年数回行われる会議に参加する。
影山志保	独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センター 客員研究員 郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム 教員免許状更新講習 講師 福島県／郡山女子大学連携事業（日本原子力研究機構協力）「放射線と除染について」 ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2014出展	国内大気汚染状況について、遺伝毒性の視点からのリスク評価を担当（平成26年4月から現在に至る） 家Ⅲ 食生活と食の安全「食品の放射線量」（平成26年8月） 福島県と郡山女子大学学生サークルNLS部による市民への放射線の説明と除染の理解を目的とし、震災や原発事故についての郡山女子大学の取り組みについて発表した。本件に郡山女子大学環境委員会委員とNLS部の顧問として尽力した。（平成26年9月） 郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表（平成26年12月）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
先 崎 和 子	福島民友新聞コラム「食の力」	分担執筆で、「①年中行事」「②中秋の名月（十五夜の月）」「③好き嫌いについて」を担当し解説した。
	小野町母子推進員	委員 母性及び乳児の育児教室の案内や出産後の訪問を実施し、母子の健康増を図る。
	更生保護女性会	会員 地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力する。
	ふるさと暮らし支援センター	会員 交流人口及び定住人口の拡大を図るため、移住希望者へPR活動や移住者への支援のほか、田舎料理づくり等の移住体験・交流を行う。
	平田村主催 レディースセミナー	講師 レディースセミナー学級生を対象に、「冷凍食品・レトルト食品を用いた簡単調理」の実習を行い、簡単で栄養バランスのとれた食事について意識の向上を図った。
	郡山ペップ子育てネットワーク主催 「食育ハーモニー」	講師 2～3歳児の親子を対象にカルシウム豊富な手づくりおやつの実習やおやつのポイントの講話をし、子どもに適したおやつについて再認識と手づくりおやつの意識の向上を図った。
	小野町国民健康保険保健事業 「ヘルシー料理教室」	講師 小野町の一般町民を対象に、健康増進と疾病予防意識の高揚を図ることを目的として、減塩料理の調理実習を行った。
根 本 恵美子	平田村役場健康福祉課 健康増進係	講師 村における生活習慣病予防（特定健診者、積極的支援・動機付け支援）健康教室「食生活を見直し血液サラサラ～コレステロール値が気になるあなた～」(平成26年2月26日)

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	福島県郡山市 市民講座（市民フォーラム）	講師 市民を対象とした高齢者の栄養及び問題 「高齢者栄養」（平成26年3月）
	平成26年度郡山女子大学サマーリフレッシュ	第26年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許更新講習）選択分野の講師 「高齢者とともに生きる。－高齢者と食事と嚙下」（平成26年8月1日）
	福島県保健福祉課・献血と健康教育推進講座	講師 高等学校、県内中学校の教員を対象に、献血の重要性と意義に関する理解を深め、健康体の保持増進のための教育 献血ができる健康な体づくりのための食生活「貧血について」（平成26年8月8日、8月11日）
	福島県小児糖尿病サマーキャンプ	小児糖尿病患者の食事 糖尿病食準備提供と食事のとり方、カーボカウント（炭水化物）計算 （平成26年8月8日～8月10日）
	平成26年度 東北（6県）ブロック老人福祉施設大会	「食」について。発表者への助言・指導 高齢者の食事の重要性と対応等、助言・指導（平成26年9月4日）
	県中地区食生活改善推進連絡協議会	講師 食を通じた健康づくり推進活動団体を対象に高血圧予防・改善するための食事について講演 「高血圧と予防・改善するための食事」（平成26年9月12日）
	二本松総務課・職員健康管理係	講師 食事バランスや野菜の栄養、楽しく美味しく食べるコツ、飲酒時に最適なおつまみ等を紹介、どんな物、量、食べ方等を病態と合わせ講演 「楽しく学ぶ食生活」栄養バランス・美味しいアルコールのつまみ。 （平成26年10月16日、11月13日）

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	日本の伝統文化（小学校）	講師 日本の伝統文化と茶道。利休7則、茶道の歴史、お辞儀の仕方、抹茶、お菓子の頂き方の説明、実技（平成26年11月13日）
	平田村役場健康福祉課、健康増進係	講師 健康教室「各家庭の味噌汁の塩分量計測から考えられる食事と病気」各家庭で味噌汁の塩分を計測した数字から、食事・病気を考える。病態と食事（適した塩分）についての講演（平成26年12月11日）
	社会福祉法人特別養護老人施設	指導・実技（経口摂取移行のための指導及び実技） 胃瘻（PEG）より経口摂取移行する際の注意、対応、実際の進め方等実際に行いながらの指導（PEG→経口移行）（平成26年12月29日）
	福島県栄養士会	監事 栄養士の会計監査に携わる。
	日本病態栄養学会	理事
亀田 明美	福島市東部学校給食センター調理業務委託業者選定委員会	審査委員長 福島市より委嘱を受け、福島市東部学校給食センターの調理業務について、民間企業の技術力や経営感覚を導入してより効率的に学校給食を運営するため、公募型プロポーザル方式で委託業者を選定した。
	郡山市中学校給食会運営委員会	委員 郡山市中学校給食会規約に基づき中学校給食会運営委員会が設置されている。運営委員会に出席し、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を行った。
	心のレシピ&郡山フードフェスタ事業	審査員 公益社団法人郡山青年会議所主催「心のレシピ&郡山フードフェスタ事業」において、「心のレシピ審査会」の審査員及び、「郡山フードフェスタ事業」への運営の協力を行った。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	福島県教育センター主催 平成26年度学校栄養職員経験者研修Ⅱ	講師 福島県教育センター主催 平成26年度学校栄養職員経験者研修Ⅱの受講者及び聴講者（栄養教諭等）を対象に、福島県の児童生徒が抱える健康課題を確認するとともに、個々の児童生徒の実態に基づいた給食指導や食に関する指導の重要性について講演した。
	福島県教育委員会主催 平成26年度ふくしまっ子の食環境を考える会	講師 福島県教育委員会主催 平成26年度 ふくしまっ子の食環境を考える会「県中、いわき、会津、県南方部」において、各会場で行われたパネルディスカッションのコーディネーターを務めるとともに、個々の児童生徒の実態に基づいた給食指導や食に関する指導の重要性について講演した。
	福島県学校給食研究会岩瀬支部主催 学校給食研究会研修会	講師 福島県学校給食研究会岩瀬支部に所属する公立小中学校の教職員を対象に、個々の児童生徒の実態に基づいた給食指導や食に関する指導の重要性について講演した。
	福島県学校給食研究会西白河支部主催 学校給食研究会研修会	講師 福島県学校給食研究会西白河支部に所属する公立小中学校の教職員を対象に、学校給食におけるアレルギー対応及び、個々の児童生徒の実態に基づいた給食指導や食に関する指導の重要性について講演した。
佐藤 浩 明	もみじ会 郡山バレーボール協会 福島県バレーボール協会	中学、小学生でも簡単に練習できるバレーボール教室 中学3年生を対象としたバレーボール教室 国民体育大会福島県少年女子バレーボールチーム コーチ
郡司 尚 子	郡山市保健所主催 食育ボランティアスキルアップ研修会 福島民友新聞社	講師 食育ボランティア委員を対象に「栄養の基礎知識」について講義を行った。 食物栄養学科教員により、毎週木曜日に、食に関するコラムを執筆し掲載。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	「食の力」コラム	エゴマについて、3回執筆を行った。 『エゴマの食文化』2014.7.31・『エゴマの料理』2014.8.28 『エゴマの機能性』2014.11.13
善方美千子	郡山市桃見台公民館主催 「トライキッズスクール」	講師 長期の休みに子どもの居場所作りを目的としたトライキッズスクールにおいて、小学生全学年を対象に「夏のおまかせランチづくり」の体験活動を通し、子どもたちの自主性や協調性を養い、心身共に健やかな青少年の育成を促す企画に携わった。
	小野町国民健康保険保健事業 「ヘルシー料理教室」	講師 小野町の一般町民を対象に、健康増進と疾病予防意識の高揚を図ることを目的として、減塩料理の調理実習を行った。
	福島民友新聞 「食の力」	郡山女子大学食物栄養学科「食の力」において、家庭における食育や郷土食について掲載した。 こんにゃくの季節：身近な加工品 食育に活用を（平成26年9月25日） 沢庵の色：郷土食継承へ旬の実る食材（平成27年1月22日） 米粉：でんぷん違い使い分け大切（平成27年2月12日）
中村真智子	福島民友新聞社 「食の力」コラム	食物栄養学科教員により、毎週木曜日に、食に関するコラムを執筆し掲載。 『炭の効用』について執筆を行った。2015.2.26
横田和子	心のレシピ&郡山フードフェスタ事業 福島民友新聞社 「食の力」コラム	公益社団法人郡山青年会議所主催「心のレシピ&郡山フードフェスタ事業」において、「心のレシピ審査会」及び、「郡山フードフェスタ事業」への運営の協力を行った。（2014.8.30,9.20,9.21） 福島民友新聞社 食物栄養学科教員により、毎週木曜日に、食に関するコラムを執筆し掲載。『ぼたもちとおはぎ』について、執筆を行った。 2015.3.12
本間杏菜	心のレシピ&郡山フードフェスタ事業	公益社団法人郡山青年会議所主催「心のレシピ審査会」及び、「郡山フードフェスタ事業」への運営の協力を行った。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	福島民友新聞社「食の力」コラム	福島民友新聞社 食物栄養学科教員により、毎週木曜日に食に関するコラムを執筆し、掲載。『おせち料理』について執筆を行った。2014.12.18
石村 由美子	郡山市食育推進協議会委員 副会長	平成20年に市民の「食」についての意識を高めるため、家庭・地域・学校・行政との連携を図りながら、郡山市の特性を活かした食育推進計画が策定された。これを受けて現状の取り組みと実施状況について、各専門分野から選任された委員を招集して、継続して協議を行い、「第二次郡山市食育推進計画」として冊子を作成した。
	郡山市水道事業経営審議会委員	郡山市水道局の命を受けて、郡山市水道事業に関わる様々な事項（水道事業経営の基盤、事業計画、財政計画等）について審議し、より良い水道事業経営の実施に向けて意見を述べ、郡山市に答申した。
	郡山市総合地方卸売市場運営協議会委員	郡山市総合卸売市場の運営に関する諸事項である、条例の改正や開場期日ならびにその内容等について、協議を行い、適切な運営のための意見を述べている。
	アカデミアコンソーシアムふくしま理事	アカデミアコンソーシアムふくしまに加盟する県内の16大学・短大が取り組んでいる「大学間連携共同教育推進事業」に係る連絡・協議会運営に参加。
	棚倉町農作物・物産物ブランド認証審査委員	棚倉町農作物・物産物ブランド化推進協議会が取り組む、地元農産物・物産物の知名度の向上と全国へのアピールを目的とした、ブランド化へ向けた認証審査委員会に参加する。
田辺 真弓	福島県文化財保護審議会	審議委員・福島県から諮問された福島県指定重要有形・無形文化財候補について、調査報告に基づいて審議を行った。
	公益信託棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員会	運営委員長・公益信託奨学育英基金の運営について、郡山市教育委員会の案に基づいて協議し、受給対象者を選定した。
	(一社)家政学会 服飾史・服飾美学部会	委員・部会の運営について協議するとともに、部会報発行に携わった。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	平成26年度郡山市立橘地域公民館主催事業 橘ときめき大学 第7回「着ることの意味を知る」(2014.11.29)	講師・明治時代の庶民が西洋の服飾をどのように取り入れていったかをひとつの例として、「着ることの意味」について講義した。
太 宰 待 子	第88回国画会工芸部チャリティー事業 (2014. 5. 1～5.12)	国立新美術館（東京六本木）に於いて、第88回国展工芸部チャリティー展に出品協力。小品を展示販売し、諸経費を除く売上金全額を自然保護協会及びNHK厚生文化事業団に寄付。
	郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習) (2014. 7.31)	家庭科選択科目領域・家庭Ⅲ「生活と情報」よりⅠ・Ⅱ時限担当 「型染を知る～造形表現への展開～」講義および技術指導の実習を通して、造形表現まで展開できるよう試みた。(受講生44名)
	県中・中学校美術教員承認研修 「工芸美術の造形表現実習」 (2014. 8. 5～8. 8)	福島県県中・中学校美術教員承認研修の講師として、「型染」の講義および作品制作の技術指導を行った。 (糊染技法による型絵染・タペストリー制作)
知 野 愛	テレビユー福島番組審議会 郡山看護専門学校看護学科 放送大学福島学習センター面接授業 (一社)日本家政学会東北北海道支部	審議委員・番組の質の向上を目的として課題番組を合評した。 非常勤講師・「家族社会学」講義 非常勤講師・「家庭支援論と子育ての歴史」講義 道県幹事・日本家政学会東北北海道支部総会打合せ等に出席した。
山 口 猛	サマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習)	7月31日(木)「家庭生活と情報」における「授業でのパソコン活用法を考える」パートの講師
坂 上 茂	放送大学 非常勤講師	福島学習センター面接授業「ヒト栄養の化学」1単位を担当
水 野 時 子	郡山市震災後子どもケアプロジェクト実務者会議委員 郡山市市民活動推進顕彰事業(まちづくりハーモニー賞)審査委員会委員	郡山市の子供たちが明るく健やかに成長するための環境づくりに、実務者会議委員として携わった。 審査委員会委員長として審査に携わった。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
小林澄枝	うめつLS内科クリニック（福島市） 福島県総合衛生学院 福島民友新聞 日本フードスペシャリスト協会共催 東部ガス株式会社福島支社 郡山女子大学附属幼稚園「父母の会」 郡山まちづくり推進協議会	糖尿病栄養カウンセラー 看護学科 非常勤講師「臨床看護総論・栄養学」担当 「食のクールビズ」夏の食卓に利用できるレシピ掲載2014. 7.29 夏休み親子料理教室「パパズ・イン・ザ・キッチン」2014. 8.23 第8回 全国親子クッキングコンテスト郡山地区大会 審査委員 2014. 9.21 料理教室「カルシウムと鉄をお手軽料理で補いましょう」 2014.11.20 2月まちなかの日「まちなか鍋合戦」準グランプリ 20015. 2. 1
鈴木奈津子	「パパズ・イン・ザ・キッチン」（共催：日本フードスペシャリスト協会） 「まちなか鍋合戦」（主催：郡山まちづくり推進協議会）	郡山市内の小学生の親子と料理に興味のある男性を対象に調理実習を行った。（2014. 8.23） 地元の農産物や特産品を活かした「鍋」の提供を行った。購入者の投票により準優勝と表彰された（6団体出場）。（2015. 2. 1）
石川雅子	郡山女子大学附属幼稚園マミークラブ 福島テレビ（FTV）	講師 「親子でプチクッキング」（2014.11.14） 「アレンジ鍋を作ろう！」取材協力 （2014.11.22放送）
茂木恭子	「パパズ・イン・ザ・キッチン」（共催：日本フードスペシャリスト協会） 郡山女子大学附属幼稚園父母の講座	郡山市内の小学生の親子と料理に興味のある男性を対象に調理実習を行った。（2014. 8.23） 「子どもに不足しがちな鉄とカルシウムをお手軽料理で補いましょう」をテーマに調理実習を行った。（2014.11.21）
三瓶令子	全国大学音楽教育学会	副理事長 学会運営と諸議題についての検討

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	全国大学音楽教育学会・東北地区学会	会長 東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討
	社団法人全国保育士養成協議会東北ブロック	理事・監事 東北ブロックの運営と、監事監査
	社団法人全国保育士養成協議会保育士試験実技試験採点委員	国家試験資格としての保育士試験において、実技試験（ピアノ）試験官として採点を行った。（2014,10,19）
	FW 乳幼児精神保健学会 第17回全国学術集会 震災復興記念 郡山大会	同学会の開催に当り、事務局長として全体の事務部門を統括。学会内講演では、教育講演の座長を務めた。加えてオープニングセレモニーに於いて、合唱指揮をした。（2014,11/22,23）
富士盛 公 年	福島県南部地区幼稚園教諭研修会講師	7月23日に白河プラザで幼稚園教諭約70名に「気になる子への対応について」1時間半の講演を行う。
上 野 智 子 (一柳)	民族藝術学会 理事 比較舞踊学会 理事 舞踊学会 指名理事 特定非営利活動法人民俗芸能を継承するふくしまの会 準備委員会代表	民族藝術学会の年3回の定例研究会の企画運営を行った 比較舞踊学会第25回大会の企画運営を行った。 舞踊学会平成27年度福島大会に向けて企画立案中 平成27年度4月発足予定の特定非営利活動法人民俗芸能を継承するふくしまの会設立準備委員会のための事務室を本学園内に設置。本法人の事業方針は、伝統芸能復興のためのサポート事業、民俗芸能等の文化が継承されるための情報収集及び発信等である。
	白河市文化財保護審議会委員	白河市の文化財保護に関わる事業の審議に関わる活動
早 川 仁	県南美術協会	H26,10/15~10/19協会主催の公募展-県南美術展の作品審査・会場運営
草 野 葉 子	郡山市私立幼稚園協会教員研修会	郡山市内の幼稚園教諭を対象とした研修会で、年4回実施する分科会「造形」の講師。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
小 林 徹	(委員等) 郡山市心身障害児就学指導委員会委員	平成25年7月～現在に至る 郡山市教育委員会から郡山女子大学に派遣依頼があり、学内で推薦されて、郡山市の就学指導委員に就任した。東京とは委員会のシステムも判定基準も大きく異なっているが、子どもたちの学習と生活を保障するために審議を行っている。
	三春町指定管理者選定検討会委員（会長）	平成26年7月～9月 三春町より町立保育所の民間委託に関わる指定管理者選定のための検討会の会長を委嘱された。行政と保護者、地域の有識者による検討会を、第三者である学識経験者として進行した。
	多摩地区特別支援教育研究会相談役	平成26年4月～現在に至る 多摩地区特別支援教育研究会（略称：多摩特研）は多摩地区各市町村および国立特別支援学校からの分担金で運営される教育・研修団体。筆者は平成9年度から研究副部長、11年度から24年度は研究部長として、年間3回の教育講演会の実施、夏季研修会の実施、研究紀要の発行などの業務を行ってきた。東京都を退職後、平成26年度より相談役に就任した。
	福島県福祉人材センター運営委員会委員	平成26年11月～現在に至る 福祉人材センターは県社会福祉協議会が設置する福祉人材の確保、定着を目的とする組織で運営委員会では求人、求職双方が現状と課題について意見交換を行う。
	福島県社会福祉協議会 福祉研修事業運営委員会委員	平成27年2月～現在に至る 本委員会は県社会福祉協議会が企画する研修事業の体系的、効果的な運営を図ることを目的とする。
	三春町子ども・子育て支援会議委員（会長）	平成27年2月～現在に至る 三春町において「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定するための会議に学識経験者として参加して会長を務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	(講演会講師等) 平成26年度郡山市第2回幼・保・小合同研修会 講師	平成26年6月18日 講演「障がいのある子や疑いのある子どもへの支援と保護者への対応」
	平成26年度郡山市特別支援教育研究会 夏季研修 講師	平成26年7月24日 講演「特別支援教育のこれからと私たちの学級づくり」
	平成26年度全日本私立幼稚園幼児教育研究機構免許 状更新講習、福島県私立幼稚園連合会10年経験者教 員研修会 講師	平成26年7月24日 講演「幼稚園をめぐる教育の最新事情 子どもの発達と新たな課題」
	平成26年度KGCサマーリフレッシュプログラム 講師	平成26年7月28日 講演「幼児教育の最新事情 生活・教育上の特別なニーズをもつ子ども の理解と支援」
	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事 業、放課後子どもプラン県中地区研修会 講師	平成26年7月30日 講演「気になる子どもの理解と支援」
	全国特別支援学校知的障害教育教頭研究大会 講師	平成26年7月31日 第一分科会「育てたい子ども像をみざした組織的な実践研究」指導助言
	平成26年度福島県立大笹生養護学校特別支援教育セ ミナー 講師	平成26年8月5日 講演「障がいの多様化に対応した学びの場と実践のあり方」
	第28回岩手県特別支援教育研究セミナー 講師	平成26年8月6日 講演「思春期の発達によりそうー中学校特別支援学級における学習・生 活支援ー」
	平成26年度大島出張所管内特別支援教育研修 講師	平成26年8月19日 通級学級分科会において、学級運営に関する講演と懇談
	香川県立香川東部養護学校平成26年度現職教育講演 会 講師	平成26年9月19日 講演「発達障がいのある児童生徒の理解と教育的支援」

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	平成26年度福島県高等学校生徒指導担当者研修会 講師	平成26年9月26日 講演「いじめへの組織的な対応について－特別支援教育の視点から－」
	平成26年度相馬地方特別支援教育研究会第2次研究 協議会 講師	平成26年10月28日 講演「思春期の発達によりそう－中学校特別支援学級における学習・生 活支援－」
	西多摩中学校教育研究会特別支援教育研究部会 講師	平成26年10月29日 研究授業「得意分野を生かした学習方法で苦手感を克服しよう」の指導 助言及び講演
	平成26年度福島県立須賀川養護学校校内研修会 講 師	平成26年11月25日 講演「主体的な学びの意欲を高める授業作り、学級作り－障がいや病気 の特性を踏まえた支援－」
	全国障害者問題研究会新潟支部講演会 講師	平成26年11月30日 講演「発達障害児の理解と支援－中学校特別支援学級における学習・生 活支援－」
	新潟市立松浜小学校校内研修会 講師	平成26年12月1日 講演「発達障害児の理解と支援－中学校特別支援学級における学習・生 活支援－」
	筑波大学（東京キャンパス）公開講座「特別な教育 的ニーズのある子どもの学習支援」 講師	平成26年12月13日 講演「知的障害のある中学生への支援－国語を中心に－」
	八丈町立小・中学校教育研究会特別研究会 講師	平成26年12月22日 講演「発達障がいのある児童・生徒の理解と教育的支援－中学校特別支 援学級における実践を中心に－」
	太田総合病院附属桔梗保育園園内研修会 講師	平成27年1月20日 講演「発達障がいのある子への支援について」

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	平成26年度第61回富山県特別支援教育研究協議会 講師	平成27年1月29日 講演「思春期の発達によりそうー中学校特別支援学級における学習・生活支援ー」
	小金井市立緑中学校特別支援教育講演会 講師	平成27年2月16日 講演「インクルーシブ教育の方向性と中学校における教育的支援」
鈴木 祥子	福島県保育者養成連絡会研究部会	研究部員 福島県内の保育者養成実習担当で、実習が円滑に運営されるよう研究に携わる。
山上 裕子	郡山看護専門学校	「教育学」非常勤講師
折 笠 国 康	社会福祉法人 郡山市社会福祉協議会	講演会講師 子どもの自己肯定感を育てる子育て・親育ち ほめない、叱らない子育てとは
	上市市立北中学校	講演会講師 Q-U結果を生かした学級経営、教科経営のあり方
	社会福祉法人 米沢仏教興道会 米沢市ファミリー・サポート・センター 米沢市地域子育て支援センター「くれよん」	講演会講師 子どもの自尊感情を育む ほめない・叱らない 子育て
	とうきょうかわのてチャイルドライン・ママパパライン東京川の手	講演会講師 子どもたちに勇気・元気・やる気を伝えるコミュニケーションとは
	STEP江東 扇橋教室	講演会講師 自尊心に対する理解自分自身の自尊心を考える
	福井県坂井市教育研究会	講演会講師 ほめない・叱らない STEP的アプローチの導入
	折笠国康特定非営利活動法人 パパジャングル	講演会講師 子どもの自尊感情を育む ほめない・叱らない 子育て
	日本教育カウンセリング学会	講演会講師 STEP的アプローチによる学級づくり 荒れのある学級の初発指導

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福井市PTA連合会	講演会講師 ほめる・叱る 子育ての再考子どもの将来的な幸せを見据えて
	尾張旭市 健康福祉部こども課子育て支援室	講演会講師 ほめない・叱らない勇気づけの子育て
	尾花沢市立尾花沢小学校	講演会講師 生徒指導研修 STEP的アプローチ理論 民主的学級集団の形成
	公益社団法人 福島県私立幼稚園連合会	講演会講師 大人のかかわり方と子どもの自尊感情
永 瀬 悦 子	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会 第17回全国学術集会の実行委員会事務局	FOUR WINDS乳幼児精神保健学会 第17回全国学術集会を日本大学において、11月23日～24日に開催した。基調講演ではフィンランドのタンペレ大学 カイヤ・プーラ先生を招聘し、フィンランドの事例から学ぶ北欧の子育てについて講演を頂いた。学会実行委員事務局として、プログラム作成および学会運営に関わる業務に務めた。
	平成26年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許更新講習）の講師	講師。幼稚園教諭を対象とした講義「子どもの病気と保育～健康状態の観察と症状の対処法について～」を担当
	ポラリス保健看護学院（保健師・看護師統合カリキュラム）の4年生	非常勤講師。教科名「地域母子看護活動論」を担当。地域母子保健の政策・母子保健に関する制度・法律、母性各期における看護、乳幼児健診等の地域における母子の看護について講義を担当
	三春中学校	講師「性感染症とその予防」
	須賀川高等学校	講師「かわいい赤ちゃんの健やかな育ち」
	三春小学校	講師（思春期保健授業）
	御木沢小学校	講師（思春期保健授業）
	岩江小学校	講師（思春期保健授業）

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
伊藤哲章	ミニロボット科学実験教室講師	郡山女子大学短期大学部ワクワクの杜を結成し、子どもゆめ基金より助成を受け、小学生対象の科学実験教室（参加者18名）を開催した。
古川 督	福島県矢吹町教育委員会 郡山市私立幼稚園協会 公益社団法人福島県私立幼稚園連合会	矢吹町子ども・子育て会議委員（平成26年7月～） 郡山市私立幼稚園協会教員研修会 講師（平成26年4月23日） 平成26年度教員研修会 講師（平成26年12月25日）
久家三夫	世界ベンチ・イス創作コンテスト実行委員会 春陽会受賞作家展2014実行委員会事務局	平成26年度実行委員会を5月23日開催。 郡山市の街づくりのために毎年実施している、椅子とベンチの創作コンテスト実行委員。 第91回春陽展受賞作家展2014は今年度福島県文化センターに於いて開催された。そのための開催事務局を担当、同時開催として春陽会福島研究会展も開催され全国から受賞者72名を迎えて9月13日～9月18日の期間で展覧会が開催された。
浅野 章	福島県美術家連盟 国画会 福島民報特別通信員 国画会絵画部チャリティー事業	会員 福島県の美術普及活動 絵画部会員 出品作品の審査・講評、及び運營業務 特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の情報・話題を中心として福島民報新聞社に記事を提供する。 出品協力 東京六本木国立新美術館に於いて、第88回・国展絵画部でのチャリティー展に出品。小品を展示販売し、売上金全額を東日本大震災義援金として寄付した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市景観づくり審議会	委員 色彩の学識経験者として郡山市の景観について審議およびアドバイスをした。また「平成26年度・郡山市景観まちづくり賞」の審査をした。
黒 沼 令	岩手県高等学校文化連盟	楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞） トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作
	第66回郡山市民文化祭実行委員会	第58回郡山市総合美術展 彫刻・工芸部門審査員
岡 部 富士夫	郡山女声合唱団	常任指揮者
	郡山市民オーケストラ	ミュージックアドバイザー
	日本作曲家協議会	会員 作品発表
	JFC東北	会員 作品発表
	NHKコンクール他	審査員
	NHK文化センター	講師
	合唱団風	常任指揮者
	福島オペラ協会	理事
	あさかの学園大学	講師
	全日本声楽アンサンブルコンテスト実行委員会	委員
	郡山吹奏楽団	指揮者
	郡山市文化・学び振興公社	評議員
深 谷 登喜子	須賀川音楽協会	会長、須賀川地域の音楽文化向上を図るための団体
	須賀川文化センター運営委員会	副委員長、文化センターの運営についての諮問機関

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	郡山女声合唱団専属ピアニスト	創立50年の一般合唱団。演奏会、コンクール参加などの活動
横溝聡子	第24回東北青少年ピアノコンクール山形地区大会	審査員
	第5回福島県合唱フェスティバル	NHK全国学校音楽コンクール課題曲「桜の季節」の伴奏指導
	第24回日本クラシック音楽コンクール福島本選 ピアノ部門 高校～一般の部	審査員
磯部哲夫	会津演奏家連盟	副代表 「サマーコンサート」において楽曲解説と司会を担当。「若い芽のコンサート」において総評執筆を担当した。
	全日本楽教育研究会	会員 大学部会において「教職実践演習の成果と今後の課題」、「教員養成とインターンシップやボランティア活動の現状」について協議した。
	福島県声楽協会	会員 来年度に行われる演奏会の全体的なプログラミングを担当した。
	高声会	会員
	音大受験の為の無料レッスン	講師 会津地区において、中・高生を対象に音大受験志望者の声楽レッスンを行った。
	KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習)	講師 「音楽科指導法」、「歌唱法」の講義を担当した。
	福島中央テレビ「歌唱王」(日テレ) 福島予選	審査員
	音楽の森コンサート	企画委員
	郡山女声合唱団	ヴォイストレーナー
野沢謙治	須賀川市文化財保護審議会委員	文化財の指定についての審議
	超学際的研究機構研究委員	産学連携研究
	福島県立博物館収集展示委員会委員	博物館の展示についての審議

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市市史編纂委員会委員	市史の編纂について審議
	郡山市市史編纂専門委員会委員	市史の執筆
	郡山市歴史資料保存整備検討委員会委員	市の保有する歴史、考古、民俗資料の保存、活用についての審議
	郡山市あさかの学園講師	郡山市の生涯学習講座の講師
	日本風俗史学会理事 東北・北海道支部長	
二 宮 和比古	白河市立図書館協議会委員	図書館協議会
齋 藤 美保子	福島県文化振興事業団評議員会	評議員として、事業団の26年度の運営全般について評議した。
	郡山市美術品選定委員会	委員として、平成26年度郡山市が収集する美術品（市ゆかりの昭和期の絵画、工芸、彫刻等）を評価した。
	福島県立美術館運営協議会	委員として、美術館の平成26年度の運営全般について協議した。
	郡山市教育委員会事務点検評価委員会	委員として、郡山市の平成25年度の文化行政の事務を点検した。
何 燕 生 (福島 寅太郎)	武漢電視台（武漢テレビ局）「問津国学」番組に出演。 http://www.whtv.com.cn/tv/1/wj/w/201408/t20140804_509860.shtml	2014年2月27日に出演、8月3日と10日と二回にわたり放送。「禅宗与武士道」と題する講演の全記録。週一回放送される45分間の教養番組。
桑 野 聡	郡山市図書館協議会	議長・委員として郡山市内の図書館運営を協議し、市民の読書環境整備を支援している。
	福島放送番組審議会	審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。
	郡山市第三次子どもの読書推進計画策定検討委員会	郡山市の未成年者の読書活動を多角的に支援するため、次年度からの5か年計画案の策定に委員長として参加している。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
阿 部 俊 夫	福島県文化財保護審議会委員	県内文化財の保存及び活用に関する重要事項についての調査審議。県指定文化財候補として測量技師伊藤直記の歴史資料群（田村市）を推薦し、他の文化財候補と共に審議し答申した。

